

有明海・八代海等総合調査評価委員会

海域再生対策検討作業小委員会

今後の進め方について(1)

－ 収集資料の整理 －

有明海・八代海等における調査等に関する収集報告書等一覧(底質・底生生物データあり:平成25年7月8日時点)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

- (1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖
 ⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進
 (2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年
001	(1) ①	底質攪拌、柱状採泥等の実施により有明海の各海域の底質環境を把握	有明海湾奥から湾奥にかけて、底質の特性を砂、泥混じり砂、砂混じり泥、泥に分けて整理、海域図を作成	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第6回)(H20.3)資料(H19年度調査について)	5~6	H19
002	(1) ①	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第7回)(H20.9)資料(H20年度調査について)	6~8	H20
003	(1) ①	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第8回)(H21.3)資料(H20年度調査について)	9~14	H20
004	(1) ①	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第9回)(H21.10)資料(H21年度調査について)	6~8	H21
005	(1) ①	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第10回)(H22.3)資料(H21年度調査について)	8~14	H21
006	(1) ①	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第11回)(H22.9)資料(H22年度調査について)	13~20	H22
007	(1) ①	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第12回)(H23.3)資料(H22年度調査について)	15~28	H22
008	(1) ①	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第13回)(H23.11)資料(H23年度調査について)	8~14	H23
009	(1) ①	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第14回)(H24.3)資料(H23年度調査について)	11~21	H23
010	(1) ①	杭を用いた浮泥対策、砂止め潜堤を活用した覆砂などの底質改善技術の開発	浮泥の堆積抑制及び覆砂の流出防止に一定の効果を確認	水産庁	平成23年度有明海漁場造成技術開発事業報告書	(杭)29~155 (砂止め潜堤)293~352	H24
011	(1) ①	福岡県大牟田沖、佐賀県太良沖において沖合タイラギ漁場再生のための覆砂技術等の実証調査を実施	凹凸覆砂型工により浮泥堆積の抑制及び浮遊幼生の着底が増加する効果を確認(大牟田沖)、薄まき覆砂工により全硫化物の抑制効果を確認	水産庁	水産基盤整備実証調査報告書(H23調査分まで)	全体	H25予定
012	(1) ①	海砂の代わりに覆砂材として「砕石」を用いてアサリ漁場を造成する技術の開発		水産庁	平成23年度有明海漁場造成技術開発事業報告書	447~511	H24
016	(1) ①	有明海湾奥部(西部海域)における懸濁物の輸送量及び輸送方向、蓄積状況の調査、懸濁物の挙動を再現する数値シミュレーションモデルの構築、計算を実施	有明海湾奥部における近年の底質環境の変化の把握(H元~11年までの細粒化とH11~22年までの粗粒化) 湾奥西部海域における浸食傾向、干潟近傍における堆積傾向など、有明海湾奥部の懸濁物の輸送状況を把握	環境省	有明海・八代海再生フォローアップ調査(懸濁物調査)報告書(H20~22)	全体	
017	(1) ①	有明海(12地点)及び八代海(10地点)における底質及び底生生物の調査、水質の観測データの収集・整理・分析及び非漁獲対象種(希少種、特産種)に関する調査を実施	有明海及び八代海における底質及び底生生物に関するデータの蓄積、各海域における底質と底生生物の関係、貧酸素水塊の発生と底生生物の関係の把握(溶存酸素濃度の低下だけが底生生物の減少に影響するのではなく、水温、塩分、捕食者など複数の要因から影響を受ける) 有明海及び八代海における底層環境モニタリング計画の提案	環境省	有明海・八代海再生フォローアップ調査(底質環境等調査)報告書(H20~21)	全体	
018	(1) ①	浮泥が堆積しにくい海底部の「峰の洲」の傾斜部で、沖合域の底質改善技術開発(水質、底質、生物調査等)を実施(農林水産省委託)	沖合域の環境改善技術を開発、今後耐久性等の調査を実施(タイラギの着生量は対照区の4~5倍程度を確認)	福岡県	有明海特産魚介類生息環境調査報告書(H21)	全体	H22
020	(1) ①	福岡県海域の干潟域を中心に年間約100haの覆砂を実施 不作以降の覆砂実績(H13~H22:約1,000ha(約200億円))	アサリ、サルボウ等の二枚貝が回復傾向、ノリ生産量が安定傾向に	福岡県	有明海覆砂事業実績一覧	全体	
021	(1) ①	有明海佐賀県太良町沖において、サルボウの粉砕貝殻を用いた新たな底質改善技術の開発を実施(条件を変えて1haの試験漁場を3年間で6つ造成し効果を検証)(農水省委託)	底質が泥の海底にサルボウ貝殻を散布後、耕耘した漁場では、タイラギ稚貝の着底が促進されるとともに、底生生物、有用魚介類の生息も増加するなど、底質の改善効果を確認	佐賀県	有明海特産魚介類生息環境調査(タイラギ)報告書(平成21年度)	1~5	
022	(1) ①	同上	同上	佐賀県	有明海特産魚介類生息環境調査(タイラギ)報告書(平成22年度)	1~5	
023	(1) ①	同上	同上	佐賀県	有明海特産魚介類生息環境調査(タイラギ)報告書(平成23年度)	1~5	
025	(1) ①	有明海佐賀県鹿島市沿岸の干潟において、困難地等による底質改善工法の効果を確認するための事業規模での実証試験を実施(文部科学省委託)	大気圧密をかけ含水比を調整することによってアゲマキ人工種苗を放流した後の稚貝の成長、生残が向上することを確認	佐賀県	生物生息環境再生のための個別技術の開発と実証 干潟海域の生物特性調査並びに再生実証実験域における有用生物種と生物攪乱の効果に関する研究 平成17~21年度最終報告	1~11	

有明海・八代海等における調査等に関する収集報告書等一覧(底質・底生生物データあり:平成25年7月8日時点)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

(1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖

⑤ 持続的なリサイクルのための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進

(2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年
026	(1) ①	同上	同上	佐賀県	干潟域における圍繞堤を用いた底質改善工法の評価(佐有研報22号)	61~64	H16
027	(1) ①	同上	同上	佐賀県	干潟域における圍繞堤を用いた底質改善工法の評価-II(佐有研報23号)	11~19	H19
028	(1) ①	同上	同上	佐賀県	アゲマキによる底質改善(酸化還元電位)の効果について(研究報告24号)	9~11	H21
029	(1) ①	同上	同上	佐賀県	生物生息環境再生のための個別技術の開発と実証試験 成果報告会講演要旨集 平成22年圍繞堤と覆砂耕耘混合による泥質干潟の底質改善技術	35~40	H22
030	(1) ①	有明海佐賀県沖の400地点において、海底の底質やメガロセントスの生息状況等を調査(水産庁補助)	海底の砂分率、AVS、メガロセントスの生息状況、ゴミや浮泥の堆積状況、ナルトビエイによる貝類の食害状況に関するデータを蓄積	佐賀県	有明海湾奥部の底質およびメガロセントス-2007年 400点調査-(研究報告24号)	19~38	H21
031	(1) ①	有明海佐賀県沖の10地点において、底質とマクロベントスの出現動向を年4回、毎年度調査、データの蓄積、底質変化の評価を実施	海底泥の中央粒径値、泥含有率、化学的酸素要求量、強熱減量、AVSとマクロベントスの生息状況に関するデータを蓄積(S50年度から)	佐賀県	有明海佐賀県海域に流入する主要河川感潮域における水質環境の長期変動(研究報告22号)	81~89	H16
032	(1) ①	同上	同上	佐賀県	有明海湾奥部の底質(研究報告23号)	37~40	H19
033	(1) ①	同上	同上	佐賀県	有明海佐賀県沿岸域の底質環境と底生生物(マクロベントス)発生の経年的変化(研究報告24号)	67~72	H21
034	(1) ①	有明海佐賀県沖において、貝桁に類似した器具を用いて海底の耕耘と海底に散在するごみの除去を実施(水産庁補助)	34.2km ² の耕耘、60.9m ³ のごみの除去を実施(H19~23)	佐賀県	佐賀県有明海における主な振興事業の取組状況(佐賀県水産課取りまとめ資料)	全体	
035	(1) ①	底生性魚介類の生息環境改善に資するため、有明海沿岸域において漁船を利用した海底耕耘を実施	全般的に暫減傾向にあった底生性魚介類の漁獲量が増加或いは安定的に推移(地元漁協からの情報による)	長崎県	H23年度水産基盤整備事業効果調査業務委託報告書	第1章	
043	(1) ①	有明海及び八代海において底質環境改善のための作れい(4.9km)及び覆砂(174ha)を実施(H19~23)	覆砂箇所におけるアサリ稚貝の着底、増殖効果の確認	熊本県	水産基盤整備事業補助金実績報告書(H20水産関係施策の概要アサリ覆砂計画)	全体	-
044	(1) ①	同上	同上	熊本県	平成19年度二枚貝資源回復調査報告書	136~142	H20
045	(1) ①	同上	同上	熊本県	平成20年度二枚貝資源回復調査報告書	161~167	H21
046	(1) ①	同上	同上	熊本県	平成21年度二枚貝資源回復調査報告書	187~190	H22
047	(1) ①	同上	同上	熊本県	平成22年度二枚貝資源安定化対策事業報告書	209~212	H23
048	(1) ①	八代海沿岸域においてダム堆積砂を用いた覆砂(13ha)を実施(H19~22)(水産庁補助)	堆積砂の覆砂事業への活用 上記除去量のうち63,700m ³ を活用(H23予定含む)	熊本県	水産基盤整備事業補助金実績報告書(H23熊本県の水産漁場整備実績)	全体	-
049	(1) ①	クルマエビ等の生息状況に適した底質環境への改善に資するため、熊本県沖の浮き流し漁場下において海底耕耘を実施(農林水産省委託)	海底耕耘によるシヤコ等の水生生物増の効果を確認(耕耘回数を増やすことにより多くの水生生物を確認)	熊本県	有明海特産魚介類生息環境調査報告書(熊本県沖委託調査)	全体	H21~H23
051	(1) ②	覆砂と突堤を組み合わせて実施することによるなぎさ線の維持と回復	砂の定着が図られ底生生物の増加を確認	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第6回)(H20.3)資料(H19年度調査について)	12	H19
101	(1) ③	有明海の二枚貝漁場や養殖場において微細気泡装置による耕耘で底質環境を改善、曝気による酸素供給により貧酸素水塊発生時の水産生物の生息環境の改善技術の実証試験を実施	微細気泡装置を用いた漁場耕耘による底質の改善効果や防除膜により効果的に溶存酸素濃度を上昇させる装置の効果を確認	水産庁	平成23年度有明海漁場造成技術開発事業報告書	513~648	H24
102	(1) ③	有明海奥部(鹿島市地先)において、カキ礁がもつ特性を利用して水質及び底質の環境改善を図り、赤潮・貧酸素水塊を抑制する技術を開発	カキ礁による水質浄化機能の検証、カキ礁の育成に適した環境条件及び増床・再生、造成技術の整理	水産庁	カキ礁による底質改善技術の開発 平成23年度報告書	全体	H24

有明海・八代海等における調査等に関する収集報告書等一覧(底質・底生生物データあり:平成25年7月8日時点)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

(1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖

⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進

(2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年
106	(1) ③	有明海のカキ礁生態系が有する環境保全機能とカキ礁生態系が貧酸素水塊の発生抑制等水質浄化に及ぼす影響を調査	貧酸素水塊の発生抑制のための知見の蓄積(貧酸素水塊の発生抑制には、汚濁負荷削減の効果は比較的小さく海域側での要素(二枚貝の生息分布拡大や潮流の増大)による影響が大きいことを検証)・シミュレーションを用いた貧酸素水塊発生の対策に資する知見の蓄積(あくまで仮想的な条件設定による) (河川からの流入負荷と貧酸素水塊の面積には線型的な関係があること、二枚貝の湾奥貧酸素水塊に及ぼす影響は、湾奥に生息するサルボウ及びカキの資源量が大きく影響すること、潮汐と貧酸素水塊には相関関係があることが提示)	環境省	有明海生態系回復方策検討調査(二枚貝類の環境浄化機能解明調査)報告書(H22～H23)	全体	
145	(1) ④	福岡県大牟田沖、佐賀県太良沖において沖合タイラギ漁場再生のための覆砂技術等の実証調査を実施	凹凸覆砂型により浮泥堆積の抑制及び浮遊幼生の着底が増加する効果を確認(大牟田沖)、薄まき覆砂工により全硫化合物の抑制効果を確認	水産庁	水産基盤整備実証調査報告書(H23調査分まで)	全体	H25予定
172	(1) ④	有明海佐賀県海域において、サルボウガイの浮遊幼生の出現状況や稚貝の分布状況、アサリの生息状況を調査、情報提供を実施	サルボウの適正な生息環境に関する知見の蓄積(夏場の大量へい死の原因が大雨による塩分低下や貧酸素であること、このような環境条件の中でも、生き残る漁場を有効活用することにより、資源の安定を図ることが)	佐賀県	サルボウ採苗情報	全体	
173	(1) ④	同上	同上	佐賀県	有明海湾奥部におけるサルボウの漁業実態と分布状況(研究報告21号)	29～36	H15
174	(1) ④	同上	同上	佐賀県	有明海湾奥部におけるサルボウ稚貝の発生と気象条件について(研究報告24号)	13～18	H22
175	(1) ④	同上	同上	佐賀県	2011年の秋季から冬季にかけて発生したサルボウの異常死亡(研究報告26号)	全体	H24
176	(1) ④	有明海佐賀県太良町沿岸の干潟において、沖合漁場に生息するタイラギ稚貝を移植する技術を開発(農林水産省補助)	タイラギ稚貝の移植に関する知見の蓄積(干潟にはばらまく方法でも十分移植が可能なこと、干潟に移植した稚貝の閉殻筋(貝柱)は、沖合の稚貝よりも大きくなることなどを確認)	佐賀県	有明海漁業振興技術開発事業結果報告書(平成21～23年度)	1～5	
177	(1) ④	有明海佐賀県沿岸のサルボウ漁場において、水温、塩分、溶存酸素などの水質や粒度組成などの底質、さらにサルボウの生息状況などを詳細に調査(農林水産省委託)	サルボウの適正な生息環境に関する知見の蓄積(夏場の大量へい死の原因が大雨による塩分低下や貧酸素であること、このような環境条件の中でも、生き残る漁場を有効活用することにより、資源の安定を図ることができる可能性を確認)	佐賀県	平成23年度有明海特産魚類生息環境調査(佐賀県沖)サルボウの生息環境調査のうち水質調査結果報告書(平成21～23年度取りまとめ含む)	1～8	
178	(1) ④	同上	同上	佐賀県	平成23年度有明海特産魚類生息環境調査(佐賀県沖)サルボウの生息環境調査のうち成育環境調査(底質・直上水)及び生息調査 結果報告書(平成21～23年度取りまとめ含む)	1～40	
179	(1) ④	同上	同上	佐賀県	平成23年度有明海特産魚類生息環境調査(佐賀県沖)サルボウの適正な生息環境調査のうち貧酸素条件緩和効果把握解析調査 結果報告書	1～34	
188	(1) ④	諫早湾内の漁協が実施するアサリ、カキの種苗放流、漁場耕耘、砂投入等の事業に対する助成を実施	アサリ、カキの安定生産に寄与(諫早湾のカキ生産量は、H19年度52t、H20:420t、H21:324t、H22:212t(漁協報告))	長崎県	諫早湾内の漁協が実施するアサリ、カキの種苗放流、漁場耕耘、砂投入等の事業に対する助成事業 各実績報告書	全体	
189	(1) ④	諫早湾において覆砂・天然の両漁場におけるタイラギの生息状況を夏春にかけて毎月比較調査	諫早湾内のタイラギの生息状況に関する知見の蓄積(覆砂漁場では天然漁場に比較すると生息数は多い。H20発生群の稚貝は近年では多く確認され、5分間の潜水調査での最高発見時(H21年1月)には、覆砂漁場では平均86個、天然漁場では41個が確認)※上記に記載ミス有:正は、覆砂漁場では平均95個、天然漁場では39個が確認	長崎県	平成20年度長崎県総合水産試験場事業報告	75～77	H21
207	(1) ④	有明海緑川河口域においてアサリの餌(プランクトン等)の量とアサリの活力(肥満度等)との関連を調査	アサリ、ハマグリ等の二枚貝の資源回復に資する知見の蓄積	平成21年度二枚貝資源回復調査	195～199	H23	水産研究センター事業報告書として公開
208	(1) ④	同上	同上	平成22年度二枚貝資源安定化対策事業報告書	216～220	H23	水産研究センター事業報告書として公開
215	(1) ④	同上	同上	平成21年度二枚貝資源回復調査報告書	191～194	H22	水産研究センター事業報告書として公開

有明海・八代海等における調査等に関する収集報告書等一覧(底質・底生生物データあり:平成25年7月8日時点)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

(1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖

⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進

(2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年
269	(1) ⑤	養殖漁場内19点において気象、海況及びノリの生長・病害の状況をノリ漁期中週2回調査分析	ノリ採苗日を従来に比べて10日以上遅らせることにより、年内生産が安定化(H19～)	福岡県水産海洋技術センター事業報告書 ノリ養殖の高度化に関する調査	各年度有り22年度県事業報告 156～165	H23	当県事業報告として印刷物で公表
341	(2) ①	長崎県小長井地先において覆砂等によるアサリの種場の経済効果をより高めるための実証調査を実施	アサリ稚貝の着底等に関する知見の蓄積(アサリ稚貝の着底は、地盤高が基本水準面から+1.0～+1.8mで多く、干出時間だと大潮時の一潮時あたり約4時間以下となる地盤が好適)	水産基盤整備実証調査(アサリ)報告書	全体	H20	水産庁HPに掲載(H17-H19調査)
342	(2) ①	底質環境の変化のメカニズム解明のための調査、タイラギの大量死に關与する底質環境の因子の把握を実施	タイラギの大量へい死に関する知見の蓄積(タイラギ等二枚貝の生息へは貧酸素水塊による影響が強く疑われていたが、硫化水素がタイラギの生存に影響を与えている可能性が示唆)	底質環境の変化に関するメカニズムの解明とタイラギへの影響評価調査報告書(H20～21)	全体		環境省図書館で閲覧可
346	(2) ①	同上	同上	有明海北東部漁場で発生したタイラギの斃死-II(研究報告22号)	17～23	H16	・冊子で配布 ・HP上で公開
354	(2) ①	同上	同上	有明再生機構 平成22年度有明海なぜシンポジウム講演集 何故、タイラギが取れたのか	1～51	H23	・冊子で配布 ・HP上で公開
355	(2) ①	同上	同上	有明海佐賀県海域で2010年夏季に発生したタイラギ1歳貝の大量斃死について(研究報告25号)	1～11	H23	・冊子で配布 ・HP上で公開
360	(2) ①	諫早湾におけるアサリ稚貝の発生実態を調査	アサリ稚貝の生息密度は2,000～10,000個体/m ² で、全国的にも高水準であることを把握	平成19年度長崎県総合水産試験場事業報告	145～146	H20	・ホームページに掲載 ・報告書を公開
361	(2) ①	同上	同上	平成20年度長崎県総合水産試験場事業報告	115～116	H21	・ホームページに掲載 ・報告書を公開
362	(2) ①	同上	同上	平成21年度長崎県総合水産試験場事業報告	105～106	H22	・ホームページに掲載 ・報告書を公開
366	(2) ②	同上	同上	有明海漁場環境改善連絡協議会(第8回)(H21.3)資料(H20年度調査について)	15～20	H20	会議資料として公表
368	(2) ②	同上	同上	有明海漁場環境改善連絡協議会(第10回)(H22.3)資料(H21年度調査について)	15～20	H21	会議資料として公表
370	(2) ②	同上	同上	有明海漁場環境改善連絡協議会(第12回)(H23.3)資料(H22年度調査について)	29～36	H22	会議資料として公表
372	(2) ②	同上	同上	有明海漁場環境改善連絡協議会(第14回)(H24.3)資料(H18年度調査について)	22～28	H23	会議資料として公表
374	(2) ②	有明海全域を網羅する魚類等生物採集調査、20魚種の胃内容物解析調査を実施、生態系モデルを用いて食物網構造について再現を検討	有明海生態系に関する知見の蓄積(極めて多様な板貝類が分布し、上位捕食者として一定かつ重要な生態系位置を占めていることなど)	有明海生態系回復方策検討調査(生態系機能解明調査)報告書(H22～23)	全体	H23～	環境省図書館で閲覧可
384	(2) ②	同上	同上	平成21年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H22	冊子
385	(2) ②	同上	同上	平成22年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H23	冊子
390	(2) ③	有明海の潮流の状況の把握、有明海海域環境モデル(国調費モデル)の精度の検証、潮位及び潮流の変動要因を検討	有明海全体の平均的な流動を精度よく再現、潮位等に関する知見の蓄積(有明海の潮位振幅に対する影響は、いずれの変動要因(地形変化、外潮位変化、ノリ網等設置、潮受堤防設置)も同程度で、潮位振幅の変化率は最大でも5%程度)	・冊子[「有明海の再生に向けた新たな取り組み」環境変化の仕組みの更なる解明のための調査～調査結果のまとめ～ H20.12]	全体	H23～H24	・冊子[「有明海の再生に向けた新たな取り組み」環境変化の仕組みの更なる解明のための調査～調査結果のまとめ～ H20.12]
401	(2) ⑤	有明海湾奥部の干潟、浅海域の環境について、長期的な変遷について整理	底質の物質循環に関する生態系シミュレーションモデルによる計算結果の検証に資する1年間の季節変動データを取得 4年間の調査研究の結果をもとに生態系シミュレーションモデルによる現況再現計算と過去の物質収支の推定、既存研究成果を整理	干潟、浅海域における底質の物質循環に関する研究 平成17～21年度研究成果報告書	147～544	H22	HP上で公開

有明海・八代海等における調査等に関する収集報告書等一覧(底質・底生生物データあり:平成25年7月8日時点)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28～30回)における報告事項等の根拠となる報告書等

No.	報告者、機関	該当する報告事項等			報告書・資料名等			
		評価委員会	資料番号	報告事項名	報告書名・資料名	該当ページ等	公表年	公表方法
01	農林水産省	第30回	資料2-1	農林水産省の取組み	1. 貧酸素調査 ①(有明海漁場環境改善連絡協議会(第4回)(H19.3)資料(H18年度調査について)	9	H18	有明海漁場環境改善連絡協議会において会議資料として
02	農林水産省	第30回	資料2-1	農林水産省の取組み	1. 貧酸素調査 ②(有明海漁場環境改善連絡協議会(第5回)(H19.9)資料(H18年度調査について)	1	H18	有明海漁場環境改善連絡協議会において会議資料として
03	農林水産省	第30回	資料2-1	農林水産省の取組み	2. 赤潮調査(有明海漁場環境改善連絡協議会(第14回)(H24.3)資料(H23年度調査について)	6～7	H23	有明海漁場環境改善連絡協議会において会議資料として
04	農林水産省	第30回	資料2-1	農林水産省の取組み	3. 底質調査(有明海漁場環境改善連絡協議会(第14回)(H24.3)資料(H23年度調査について)	11～12	H23	有明海漁場環境改善連絡協議会において会議資料として
05	農林水産省	第30回	資料2-1	農林水産省の取組み	4. 二枚貝生息調査(有明海漁場環境改善連絡協議会(第14回)(H24.3)資料(H23年度調査について)	23～26	H23	有明海漁場環境改善連絡協議会において会議資料として
06	農林水産省	第30回	資料2-1	農林水産省の取組み	5. 特産魚介類精査係環境調査(有明海漁場環境改善連絡協議会(第14回)(H24.3)資料(H23年度調査について)	29～53	H24	有明海漁場環境改善連絡協議会において会議資料として
07	林野庁	第30回	資料2-2	九州地方の森林資源の現状等について	資料掲載情報のとおり	全体	H24	委員会資料による
08	中田英昭委員	第30回	資料3	橘湾の海域特性について	資料掲載情報のとおり	全体	H24	委員会資料による
09	農林水産省	第29回	資料2	前回委員会における委員指摘事項について 1 諫早湾内における貧酸素水塊の観測について	有明海貧酸素水塊広域連続観測(諫早湾)	全体	H22～	HPによる
10	関係県	第29回	資料2	前回委員会における委員指摘事項について 2 公共用水域水質調査結果	公共用水域水質調査結果	全体	各年度	HP、冊子による
11	関係県	第29回	資料2	前回委員会における委員指摘事項について 3 貧酸素水塊による漁業被害に関する情報	資料掲載情報のとおり	全体	H24	委員会資料による
13	国土交通省	第29回	資料2	前回委員会における委員指摘事項について 4(2)海洋環境整備船「海輝」による八代海における環境調査	環境整備船「海輝」による有明海・八代海の環境調査計画の策定と調査結果	全体	H17～	HP、冊子による
27	環境省	第29回	資料3-3	環境省の取組み(H19～H22)	3 底質環境の変化に関するメカニズムの解明とタイラギへの影響評価調査(H20～21)	全体	H21～	環境省図書館で閲覧可能
28	環境省	第29回	資料3-3	環境省の取組み(H19～H22)	4 有明海・八代海再生フォローアップ調査(底質環境調査)(H20～21)	全体	H21～	環境省図書館で閲覧可能

有明海・八代海等における調査等に関する収集報告書等一覧(底質・底生生物データあり:平成25年7月8日時点)

○ その他、委員等から情報提供いただいた報告書等

No.	実施機関	報告書・資料名等			
		報告書名・資料名	該当ページ等	公表年	公表方法
01	農林水産省	二枚貝類等生息環境調査(平成16～18年度)	全体	H20	報告書「有明海の再生に向けた新たな取組」による
02	農林水産省	有明海底質環境調査(平成16～22年度)	全体	H17～	報告書「有明海の再生に向けた新たな取組」及び有明海漁場環境改善連絡協議会(第8、10、12回)による
03	農林水産省	有明海潮流観測等調査	全体	H20	報告書「有明海の再生に向けた新たな取組」による
04	農林水産省	諫早湾干拓事業の潮受堤防の排水門の開門調査に係る環境影響評価書(平成24年)	全体	H24	評価書、HPによる
05	国土交通省	環境整備船「海輝」による有明海・八代海の環境調査計画の策定と調査結果	全体	H17～23	報告書、HPによる
06	国土交通省	九州地域における干潟の保全・再生技術資料	全体	H21	
07	環境省	平成18～19年度発生負荷量等算定調査～有明海における排出負荷量及び流入負荷量の把握	全体	H19～	報告書による
08	環境省	平成19年度有明海・八代海水環境調査報告書	全体	H20	報告書による
09	環境省	平成15年度有明海における底泥からの栄養塩類溶出把握実態調査	全体	H16	報告書による
10	環境省	平成16年度八代海における底泥からの栄養塩類溶出把握実態調査	全体	H17	報告書による
11	環境省	平成14年度有明海等浅海域環境定量評価手法検討調査報告書	全体	H15	報告書による
12	環境省	平成23年度有明海懸濁物等長期変動調査報告書	全体	H24	報告書による
13	農林水産省 国土交通省 経済産業省 環境省	平成15年度有明海海域環境調査報告書(国土総合開発事業調整費調査)	全体	H16	報告書による
14	熊本県	八代港薬場造成計画	全体	H21	報告書による
15	熊本県	有明海・八代海干潟等沿岸海域再生検討委員会報告書	全体	H18	HPによる
16	北九州市立大学 楠田先生	蘇る有明海 再生への道程	全体	H24	出版物(恒星社厚生閣)
17	北九州市立大学 楠田先生	「有明海生物生息環境の俯瞰型再生と実証試験」最終報告書	全体	H17	報告書による
18	九州大学 松永先生	諫早湾の水質・底質環境に関する研究成果報告書	全体	H23	報告書による
19	佐賀大学	佐賀大学有明海総合研究プロジェクト最終成果報告書	全体	H22	報告書、HPによる
20	特定非営利法人 有明海再生機構	有明海再生機構の中間まとめ 有明海環境異変を科学技術はどこまで解明したか	全体	H23	報告書、HPによる
21	国土交通省	八代海域調査委員会資料	全体	H13	報告書
22	国土交通省	八代海モニタリング委員会資料	全体	H16～	報告書、HPによる
23	水産庁	浅海化・干潟化による影響緩和のための一体的な基盤整備方策検討調査報告書	全体	H20	報告書
24	文科省	生物多様性のある八代海沿岸海域環境の俯瞰型再生研究プロジェクト	全体	H25～	報告書
25	運輸省	平成11年度 有明・八代海干潟環境創造調査 報告書	全体	H12	報告書
26	国交省	平成13年度 有明海海域改善方策検討調査 報告書	全体	H14	報告書
27	国交省	平成13年度 有明海海域改善方策検討調査 報告書	全体	H14	報告書

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

- (1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖
 ⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進
 (2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年	公表方法
001	(1) ①	底質攪拌、柱状採泥等の実施により有明海の各海域の底質環境を把握	有明海湾奥から湾奥にかけて、底質の特性を砂、泥混じり砂、砂混じり泥、泥に分けて整理、海域図を作成	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第6回)(H20.3)資料(H19年度調査について)	5~6	H19	会議資料として公表
002	(1) ①	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第7回)(H20.9)資料(H20年度調査について)	6~8	H20	会議資料として公表
003	(1) ①	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第8回)(H21.3)資料(H20年度調査について)	9~14	H20	会議資料として公表
004	(1) ①	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第9回)(H21.10)資料(H21年度調査について)	6~8	H21	会議資料として公表
005	(1) ①	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第10回)(H22.3)資料(H21年度調査について)	8~14	H21	会議資料として公表
006	(1) ①	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第11回)(H22.9)資料(H22年度調査について)	13~20	H22	会議資料として公表
007	(1) ①	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第12回)(H23.3)資料(H22年度調査について)	15~28	H22	会議資料として公表
008	(1) ①	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第13回)(H23.11)資料(H23年度調査について)	8~14	H23	会議資料として公表
009	(1) ①	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第14回)(H24.3)資料(H23年度調査について)	11~21	H23	会議資料として公表
010	(1) ①	杭を用いた浮泥対策、砂止め潜堤を活用した覆砂などの底質改善技術の開発	浮泥の堆積抑制及び覆砂の流出防止に一定の効果を確認	水産庁	平成23年度有明海漁場造成技術開発事業報告書	(杭)29~155 (砂止め潜堤)293~352	H24	・報告書の要約をHPに掲載 ・報告書を関係県・漁連等に配布
011	(1) ①	福岡県大牟田沖、佐賀県太良沖において沖合タイラギ漁場再生のための覆砂技術等の実証調査を実施	凹凸覆砂軟型工により浮泥堆積の抑制及び浮遊幼生の着底が増加する効果を確認(大牟田沖)、薄まき覆砂工により全硫化物の抑制効果を確認	水産庁	水産基盤整備実証調査報告書(H23調査分まで)	全体	H25予定	調査終了後水産庁HPに掲載(H20-H24調査)
012	(1) ①	海砂の代わりに覆砂材として「砕石」を用いてアサリ漁場を造成する技術の開発	同上	水産庁	平成23年度有明海漁場造成技術開発事業報告書	447~511	H24	・報告書の要約をホームページに掲載 ・報告書を関係県・漁連等に配布
013	(1) ①	管理ダムの堆積土砂量の定期調査を実施し、土砂量を把握	ダムでの土砂堆積量の把握	国土交通省	第5回筑後川土砂動態調査に関するワーキンググループ(H23.9.26)資料3	5	H24	ホームページに掲載
014	(1) ①	同上	同上	国土交通省	ダム管理等フォローアップ年次報告書(松原、下笠、寺内、竜門、緑川)	2		ダム管理等フォローアップ委員会にて資料配付
015	(1) ①	筑後川下流域等における砂利採取の禁止	河川における適切な土砂管理(砂利採取の禁止)	国土交通省	第5回筑後川土砂動態調査に関するワーキンググループ(H23.9.26)資料3	21	H24	ホームページに掲載
016	(1) ①	有明海湾奥部(西部海域)における懸濁物の輸送量及び輸送方向、蓄積状況の調査、懸濁物の挙動を再現する数値シミュレーションモデルの構築、計算を実施	有明海湾奥部における近年の底質環境の変化の把握(H元~11年までの細粒化とH11~22年までの粗粒化) 湾奥西部海域における浸食傾向、干潟近傍における堆積傾向など、有明海湾奥部の懸濁物の輸送状況を把握	環境省	有明海・八代海再生フォローアップ調査(懸濁物調査)報告書(H20~22)	全体		環境省図書館で閲覧可
017	(1) ①	有明海(12地点)及び八代海(10地点)における底質及び底生生物の調査、水質の観測データの収集・整理・分析及び非漁獲対象種(希少種、特産種)に関する調査を実施	有明海及び八代海における底質及び底生生物に関するデータの蓄積、各海域における底質と底生生物の関係、貧酸素水塊の発生と底生生物の関係の把握(溶存酸素濃度の低下だけが底生生物の減少に影響するのではなく、水温、塩分、捕食者など複数の要因から影響を受ける) 有明海及び八代海における底層環境モニタリング計画の提案	環境省	有明海・八代海再生フォローアップ調査(底質環境等調査)報告書(H20~21)	全体		環境省図書館で閲覧可
018	(1) ①	浮泥が堆積しにくい海底洲「峰の洲」の傾斜部で、沖合域の底質改善技術開発(水質、底質、生物調査等)を実施(農林水産省委託)	沖合域の環境改善技術を開発、今後耐久性等の調査を実施(タイラギの着生量は対照区の4~5倍程度を確認)	福岡県	有明海特産魚介類生息環境調査報告書(H21)	全体	H22	有明海漁場環境改善連絡協議会資料として
019	(1) ①	浮泥堆積、底質、水質、海底地形、潮流調査を実施	同上	福岡県	有明海特産魚介類生息環境調査報告書(H22)	全体	H23	有明海漁場環境改善連絡協議会資料として
020	(1) ①	福岡県海域の干潟域を中心に年間約100haの覆砂を実施 不作以降の覆砂実績(H13~H22:約1,000ha(約200億円))	アサリ、サルボウ等の二枚貝が回復傾向、ノリ生産量が安定傾向に	福岡県	有明海覆砂事業実績一覧	全体		
021	(1) ①	有明海佐賀県太良町沖において、サルボウの粉砕貝殻を用いた新たな底質改善技術の開発を実施(条件を変えて1haの試験漁場を3年間で6つ造成し効果を検証)(農水省委託)	底質が泥の海底にサルボウ貝殻を散布後、耕耘した漁場では、タイラギ稚貝の着底が促進されるとともに、底生生物、有用魚介類の生息も増加するなど、底質の改善効果を確認	佐賀県	有明海特産魚介類生息環境調査(タイラギ)報告書(平成21年度)	1~5		

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

- (1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖
 ⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進
 (2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年	公表方法
022	(1) ①	同上	同上	佐賀県	有明海特産魚介類生息環境調査(タイラギ)報告書(平成22年度)	1~5		
023	(1) ①	同上	同上	佐賀県	有明海特産魚介類生息環境調査(タイラギ)報告書(平成23年度)	1~5		
024	(1) ①	佐賀県有明海塩田川河口のノリ漁場において、泥の堆積により浅くなった滞の浚渫を実施(水産庁補助)	浚渫量81,358m ³ 、施工長2,058mの浚渫を実施(H19~20)	佐賀県	佐賀県有明海における主な振興事業の取組状況(佐賀県水産課取りまとめ資料)	全体		
025	(1) ①	有明海佐賀県鹿島市沿岸の干潟において、囲繞堤等による底質改善工法の効果を確認するための事業規模での実証試験を実施(文部科学省委託)	大気圧密をかけ含水比を調整することによってアゲマキ人工種苗を放流した後の稚貝の成長、生残が向上することを確認	佐賀県	生物生息環境再生のための個別技術の開発と実証 干潟海域の生物特性調査並びに再生実証実験域における有用生物種と生物攪乱の効果に関する研究 平成17~21年度最終報告	1~11		
026	(1) ①	同上	同上	佐賀県	干潟域における囲繞堤を用いた底質改善工法の評価(佐有研報22号)	61~64	H16	・冊子で配布 ・HP上で公開
027	(1) ①	同上	同上	佐賀県	干潟域における囲繞堤を用いた底質改善工法の評価-II(佐有研報23号)	11~19	H19	・冊子で配布 ・HP上で公開
028	(1) ①	同上	同上	佐賀県	アゲマキによる底質改善(酸化還元電位)の効果について(研究報告24号)	9~11	H21	・冊子で配布 ・HP上で公開
029	(1) ①	同上	同上	佐賀県	生物生息環境再生のための個別技術の開発と実証試験 成果報告会講演要旨集 平成22年囲繞堤と覆砂耕耘混合による泥質干潟の底質改善技術	35~40	H22	・冊子で配布
030	(1) ①	有明海佐賀県沖の400地点において、海底の底質やメガロセントスの生息状況等を調査(水産庁補助)	海底の砂分率、AVS、メガロセントスの生息状況、ゴミや浮泥の堆積状況、ナルトビエイによる貝類の食害状況に関するデータを蓄積	佐賀県	有明海湾奥部の底質およびメガロセントス-2007年 400点調査-(研究報告24号)	19~38	H21	・冊子で配布 ・HP上で公開
031	(1) ①	有明海佐賀県沖の10地点において、底質とメガロセントスの出現動向を年4回、毎年度調査、データの蓄積、底質変化の評価を実施	海底泥の中央粒径値、泥分含有率、化学的酸素要求量、強熱減量、AVSとメガロセントスの生息状況に関するデータを蓄積(S50年度から)	佐賀県	有明海佐賀県海域に流入する主要河川感潮域における水質環境の長期変動(研究報告22号)	81~89	H16	・冊子で配布 ・HP上で公開
032	(1) ①	同上	同上	佐賀県	有明海湾奥部の底質(研究報告23号)	37~40	H19	・冊子で配布 ・HP上で公開
033	(1) ①	同上	同上	佐賀県	有明海佐賀県沿岸域の底質環境と底生生物(メガロセントス)発生の経年的変化(研究報告24号)	67~72	H21	・冊子で配布 ・HP上で公開
034	(1) ①	有明海佐賀県沖において、貝桁に類似した器具を用いて海底の耕耘と海底に散在するごみの除去を実施(水産庁補助)	34.2km ² の耕耘、60.9m ³ のごみの除去を実施(H19~23)	佐賀県	佐賀県有明海における主な振興事業の取組状況(佐賀県水産課取りまとめ資料)	全体		
035	(1) ①	底生性魚介類の生息環境改善に資するため、有明海沿岸域において漁船を利用した海底耕耘を実施	全般的に暫減傾向にあった底生性魚介類の漁獲量が増加或いは安定的に推移(地元漁協からの情報による)	長崎県	H23年度水産基盤整備事業 効果調査業務委託報告書	第1章		
036	(1) ①	球磨川中流部の荒瀬ダム内の堆砂の除去を実施	流入土砂の管理、除去 総除去量(H19~23):219,200m ³ (H23予定含む)	熊本県	第3回荒瀬ダム撤去フォローアップ専門委員会 パワーポイント資料	12~14	H24	・ホームページに掲載
037	(1) ①	5つのダムにおいて堆砂量の測量を実施、うち2つのダムからの堆砂除去を実施	堆砂の覆砂事業への活用 上記除去量のうち63,700m ³ を活用(H23予定含む)	熊本県	市房ダム単県ダム堆砂排除(ダム貯水池内堆砂測量)委託報告書	全体	-	
038	(1) ①	同上	同上	熊本県	市房ダム単県ダム堆砂排除工事報告書	全体	-	
039	(1) ①	同上	同上	熊本県	氷川ダム単県ダム堆砂排除(堆砂測量)委託報告書	全体	-	
040	(1) ①	同上	同上	熊本県	氷川ダム単県ダム堆砂排除(貯砂ダム掘削)工事報告書	全体	-	
041	(1) ①	同上	同上	熊本県	石打ダム単県ダム堆砂排除(深淺測量)委託他合併報告書	全体	-	
042	(1) ①	同上	同上	熊本県	亀川ダム外単県ダム(堆砂測量)委託他合併報告書	全体	-	
043	(1) ①	有明海及び八代海において底質環境改善のための作れい(4.9km)及び覆砂(174ha)を実施(H19~23)	覆砂箇所におけるアサリ稚貝の着底、増殖効果の確認	熊本県	水産基盤整備事業補助金実績報告書(H20水産関係施策の概要アサリ覆砂計画)	全体	-	

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

- (1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖
 ⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進
 (2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年	公表方法
044	(1) ①	同上	同上	熊本県	平成19年度二枚貝資源回復調査報告書	136~142	H20	水産研究センター事業報告書として公開
045	(1) ①	同上	同上	熊本県	平成20年度二枚貝資源回復調査報告書	161~167	H21	水産研究センター事業報告書として公開
046	(1) ①	同上	同上	熊本県	平成21年度二枚貝資源回復調査報告書	187~190	H22	水産研究センター事業報告書として公開
047	(1) ①	同上	同上	熊本県	平成22年度二枚貝資源安定化対策事業報告書	209~212	H23	水産研究センター事業報告書として公開
048	(1) ①	八代海沿岸域においてダム堆積砂を用いた覆砂(13ha)を実施(H19~22)(水産庁補助)	堆砂の覆砂事業への活用 上記除去量のうち63,700m ³ を活用(H23予定含む)	熊本県	水産基盤整備事業補助金実績報告書(H23熊本県の水産漁場整備実績)	全体	-	
049	(1) ①	クルマエビ等の生息状況に適した底質環境への改善に資するため、熊本県沖の浮き流し漁場下において海底耕耘を実施(農林水産省委託)	海底耕耘によるシヤコ等の水生生物増の効果を確認(耕耘回数を増やすことにより多くの水生生物を確認)	熊本県	有明海特産魚介類生息環境調査報告書(熊本県沖委託調査)	全体	H21~H23	報告書として農政局へ提出
050	(1) ①	獅子島沿岸域の海底ごみの除去、貝化石の散布を実施(水産庁補助)	現在効果等を検証中	鹿児島県	獅子島沿岸域の海底ごみの除去、貝化石の散布事業に関する資料	全体	H24	長島町ホームページに掲載
051	(1) ②	覆砂と突堤を組み合わせて実施することによるなぎさ線の維持と回復	砂の定着が図られ底生生物の増加を確認	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第6回(H20.3)資料(H19年度調査について))	12	H19	・有明海漁場環境改善連絡協議会において会議資料として公表
052	(1) ②	栄養塩の吸収において、ノリと競合関係にある珪藻プランクトンを捕食する二枚貝をノリ養殖漁場近傍で効果的に増養殖させる技術を開発	アサリやカキが珪藻プランクトンを捕食する速度に関係する濾水速度の解明、ノリの色落ち被害を防止するためのアサリ増殖場やカキ養殖場の効果的な整備について検討	水産庁	平成23年度海面養殖業振興対策費のうち新たなノリ色落ち対策技術開発事業のうち二枚貝増養殖技術の開発のうち八代海北部海域における二枚貝増養殖によるノリ色落ち対策技術開発委託事業報告書	15	H23	・ホームページに掲載
053	(1) ②	同上	同上	水産庁	平成23年度海面養殖業振興対策費のうち新たなノリ色落ち対策技術開発事業のうち二枚貝増養殖技術の開発のうちノリ養殖と共存させるための二枚貝増養殖手法の検討と評価委託事業報告書	7~8	H23	・ホームページに掲載
054	(1) ②	下水道整備の支援(交付金)	生活排水による水質汚濁負荷の低減	国土交通省	社会資本整備総合交付金の概要	全体	H22	・ホームページに掲載
055	(1) ②	港湾・海岸・河川域における清掃活動の取り組みの強化	港湾・海岸・河川環境の保全	国土交通省	干潟体験学習の一環として、参加した小学生と協働で海岸清掃を実施。	-		報告書等なし
056	(1) ②	海洋環境整備船による浮遊ごみの効率的な回収	環境学習をととした保全活動の啓蒙	国土交通省	平成22年度環境整備船「海輝」年次報告書	全体	H16~	・ホームページに掲載 ・関係機関へ配布
057	(1) ②	生活排水対策重点地域における、生活排水対策推進計画の進捗状況の確認及び計画推進に係る助言の実施	生活排水による水質汚濁負荷の低減(有明海関係地域において生活排水対策重点地域5地域を指定、毎年度進捗状況を確認)	福岡県	有明海の再生に関する福岡県計画	別表1	H17年度より毎年	県HP、水産振興課での閲覧
058	(1) ②	生活排水対策の推進(下水道、農集排、浄化槽整備)	生活排水による水質汚濁負荷の低減(有明海関係地域において生活排水対策重点地域5地域を指定、毎年度進捗状況を確認)	福岡県	有明海の再生に関する福岡県計画	別表1	H17年度より毎年	県HP、水産振興課での閲覧
059	(1) ②	河川流況の維持	日向神ダム(県営)の弾力管理試験による河川流量の維持	福岡県	日向神ダム弾力試験実績一覧	全体		
060	(1) ②	干潟、漁港の漂着物回収・処理を実施	干潟・漁港・海浜環境の保全	福岡県	有明海GND事業実績一覧表	1枚		
061	(1) ②	海浜の清掃を実施	干潟・漁港・海浜環境の保全	福岡県	有明海沿岸四県漁場環境保全総合美化推進事業実績	1		
062	(1) ②	河川等を介して有明海に流入する福わら等のごみの抑制について営農者に周知、徹底	干潟・漁港・海浜環境の保全	福岡県	福わらリーフレット	全体	H11年度より毎年	営農者に郵送
063	(1) ②	生活排水対策重点地域の追加指定(武雄市)	生活排水による水質汚濁負荷の低減 汚水処理人口普及率推移(H19→H22): 63.0%→72.6%	佐賀県	H19年版佐賀県環境白書	83	H20	・冊子で配布 ・HP上で公開
064	(1) ②	同上	同上	佐賀県	H22年版佐賀県環境白書	71~72	H23	・冊子で配布 ・HP上で公開

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

(1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖

⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進

(2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年	公表方法
065	(1) ②	生活排水対策の推進(下水道、農集排、浄化槽整備)	生活排水による水質汚濁負荷の低減 汚水処理人口普及率推移(H19→H22): 63.0%→72.6%	佐賀県	H19年版佐賀県環境白書	83	H20	・冊子で配布 ・HP上で公開
066	(1) ②	同上	同上	佐賀県	H22年版佐賀県環境白書	71~72	H23	・冊子で配布 ・HP上で公開
067	(1) ②	干潟、沿岸、ノリ養殖場内の浮遊、漂着ごみの除去	干潟、沿岸、ノリ養殖場環境の保全	佐賀県	佐賀県有明海における主な 振興事業の取組状況 (佐賀県水産課取りまとめ資料)	全体		
068	(1) ②	生活排水対策の推進(下水道、農集排、浄化槽整備)	生活排水による水質汚濁負荷の低減 処理人口普及率推移(H19→H22) 下水道:21.9→27.8%、農集排:9.1→10.0% 浄化槽:24.8→23.2%	長崎県	(報告書名はなし) 生活排水対策の推進(下水道、 農集排、浄化槽整備)取り まとめ	全体		報告書等なし
069	(1) ②	有明海沿岸域3市において海岸漂着物の回収・処理を実施(環境省補助及び県単)	海岸漂着物等の回収による海域の保全 雲仙市(橋浜沿岸域):45t(H19~21) 雲仙市、南島原市(有明海沿岸域):48t (H22) 島原市、雲仙市、南島原市(〃):319t(H23 予定)	長崎県	長崎県漂流・漂着ごみ等撤 去事業補助金実績報告書	全体		報告書等なし
070	(1) ②	生活排水対策の推進(下水道、農集排、浄化槽整備)	生活排水による水質汚濁負荷の低減 汚水処理人口普及率(H18→H22):72.4% →80.9%	熊本県	熊本県内市町村別汚水処理 人口普及率	全体	H24	・ホームページに掲載
071	(1) ②	条例改正による事業場からの排水規制の強化	工場、事業場から海域への汚濁負荷の削減 措置として、平成17年に県条例を改正、 平成20年施行。	熊本県	・水質汚濁防止法第3条第3 項の規定に基づき排水基準 を定める条例 ・熊本県生活環境の保全等 に関する条例	全体	①H17改定 ②行政指導 件数は年度 毎	②水質汚濁防止法に基づく 行政指導と併せて総件数を 県議会に報告。 報告書等なし。
072	(1) ②	5つのダムにおいて定期的な水質調査を実施、また、2つのダムにおいて水質改善対策を実施	ダム湖の水質改善による下流部への有害 物質等の流出の防止	熊本県	市房ダム管理運営費(貯水 池水質調査)委託他合併報 告書	全体	-	
073	(1) ②	同上	同上	熊本県	氷川ダム管理運営費(水質 調査)委託報告書	全体	-	
074	(1) ②	同上	同上	熊本県	石打ダム管理運営費(経・ 維)水質調査委託報告書	全体	-	
075	(1) ②	同上	同上	熊本県	亀川ダム管理運営費(経・ 維)水質調査委託報告書	全体	-	
076	(1) ②	同上	同上	熊本県	上津浦ダム管理運営費(水 質調査・流量観測)委託報告 書	全体	-	
077	(1) ②	有明海(2か所)及び八代海(5か所)においてマダイ等の稚仔魚育成のための増殖場及び藻場の造成を実施(水産庁補助)	のべ230haの藻場等の造成が完了(H19~ 22)	熊本県	水産基盤整備事業補助金実 績報告書(H20水産関係施策 の概要マダイ増殖場計画)	全体	-	
078	(1) ②	八代海(水俣市地先)でイカタコ産卵礁の設置を実施	23のイカタコ産卵礁の設置が完了(H21)	熊本県	水俣地区漁港漁場施設機能 強化対策事業工事設計書	全体	-	
079	(1) ②	藻場等の復元方法を明らかにするための海藻、生息生物調査を実施	地域に応じたアマモの移植方法の確立	熊本県	平成19年度藻場造成技術開 発試験報告書	25~27	H20	水産研究センター事業報告 書として公開
080	(1) ②	同上	同上	熊本県	平成20年度藻場機能回復試 験報告書	29~31	H21	水産研究センター事業報告 書として公開
081	(1) ②	同上	同上	熊本県	平成21年度藻場機能回復試 験報告書	27~29	H22	水産研究センター事業報告 書として公開
082	(1) ②	同上	同上	熊本県	平成22年度藻場機能回復試 験報告書	27~30	H23	水産研究センター事業報告 書として公開
083	(1) ②	有明海沿岸での海浜及び海底の清掃の実施	海岸において、2tトラック3,393台分のごみ (H14~23)を、海底から1.625tのごみ(H14 ~23)除去	熊本県	有明海沿岸4県漁場環境保 全総合美化推進協議会資料	全体	-	
084	(1) ②	生活排水対策の推進(下水道、農漁集排、浄化槽整備)	生活排水による水質汚濁負荷の低減 浄化槽整備基数(H19~22):1,884基	鹿児島県	鹿児島県浄化槽整備事業交 付金実績報告書	全体	毎年	ホームページ等で県内設置 基数を公表
085	(1) ②	長島町脇崎地区における藻場造成を実施(農林水産省補助)	検証中	鹿児島県	H23年度漁場環境保全創造 事業関係資料	全体	H24	
086	(1) ②	桂島沿岸域においてウニの駆除、獅子島沿岸域においてヒジキの養殖を実施(水産庁補助)	一部現在効果等確認中	鹿児島県	桂島沿岸域におけるウニの 駆除、獅子島沿岸域におけ るヒジキの養殖に関する資料	全体	H24	長島町ホームページに掲載 (獅子島のみ)

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

- (1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖
 ⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進
 (2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年	公表方法
087	(1) ②	出水市沿岸域においてワカメ場の造成、浅場の耕耘(3回)を実施(水産庁委託)	一部現在効果等確認中	鹿児島県	出水市沿岸域におけるワカメ場の造成、浅場の耕耘事業に関する資料	全体	未公表	報告書等取りまとめ中
088	(1) ②	獅子島、桂島沿岸の海岸清掃による漂着物の除去(水産庁補助)	一部現在効果等確認中	鹿児島県	獅子島、桂島沿岸の海岸清掃による漂着物の除去事業に関する資料	全体	未公表	長島町ホームページに掲載(獅子島のみ)
089	(1) ③	諫早湾内6地点において貧酸素水塊の鉛直連続観測を、同湾内3地点において赤潮(クロロフィルa)の観測、定期水質調査を実施	貧酸素水塊及び赤潮のモニタリング結果について、ホームページ上での情報提供を実施 貧酸素水塊：九州農政局ホームページ 赤潮：(社)日本水産資源保護協会 (独)西海区水産研究所、有明海沿岸各県等と連携)	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第4回)(H19.3)資料(H18年度調査について)	貧酸素 3~12 赤潮 21~26	H18	・会議資料として公表 ・ホームページ上での随時情報提供・公表
090	(1) ③	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第6回)(H20.3)資料(H19年度調査について)	貧酸素 1~2 赤潮 3~4	H19	・会議資料として公表 ・ホームページ上での随時情報提供・公表
091	(1) ③	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第7回)(H20.9)資料(H20年度調査について)	貧酸素 1~3 赤潮 4~5	H20	・会議資料として公表 ・ホームページ上での随時情報提供・公表
092	(1) ③	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第8回)(H21.3)資料(H20年度調査について)	貧酸素 1~4 赤潮 5~8	H20	・会議資料として公表 ・ホームページ上での随時情報提供・公表
093	(1) ③	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第9回)(H21.10)資料(H21年度調査について)	貧酸素 1~3 赤潮 4~5	H21	・会議資料として公表 ・ホームページ上での随時情報提供・公表
094	(1) ③	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第10回)(H22.3)資料(H21年度調査について)	貧酸素 1~8 赤潮 4~7	H21	・会議資料として公表 ・ホームページ上での随時情報提供・公表
095	(1) ③	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第11回)(H22.9)資料(H22年度調査について)	貧酸素 1~8 赤潮 9~12	H22	・会議資料として公表 ・ホームページ上での随時情報提供・公表
096	(1) ③	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第12回)(H23.3)資料(H22年度調査について)	貧酸素 1~6 赤潮 7~14	H22	・会議資料として公表 ・ホームページ上での随時情報提供・公表
097	(1) ③	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第13回)(H23.11)資料(H22年度調査について)	貧酸素 1~3 赤潮 4~7	H23	・会議資料として公表 ・ホームページ上での随時情報提供・公表
098	(1) ③	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第14回)(H24.3)資料(H18年度調査について)	貧酸素 1~4 赤潮 5~10	H23	・会議資料として公表 ・ホームページ上での随時情報提供・公表
099	(1) ③	有明海の流動・水質の再現モデルの構築	有明海の流動・水質の再現モデルの構築	農林水産省	「流動・水質のシミュレーションモデルのプログラム」	全体	H23	・「流動・水質のシミュレーションモデルのプログラムの入手方法について」としてホームページ上で公表。 ・入手申請書の使用条件等に同意した者について入手可。
100	(1) ③	有明海、八代海、橋湾など赤潮・貧酸素水塊が発生しやすい海域における広域的な監視・水質モニタリング調査の実施、赤潮・貧酸素水塊の発生機構の解明や予察技術の開発	調査データを関係省が実施する漁業被害防止対策の策定に活用、長年蓄積してきたデータを整理・解析することで、赤潮・貧酸素水塊の発生機構の解明や予察技術の開発・精度向上に貢献	水産庁	H23年度漁場環境・生物多様性保全総合対策事業のうち赤潮・貧酸素水塊漁業被害防止対策事業 事業報告書(各課題毎)	全体	H24	・報告書を農水省HPに掲載予定 ・報告書を関係県・水産試験研究機関・大学等に配布
101	(1) ③	有明海の二枚貝漁場や養殖場において微細気泡装置による耕耘で底質環境を改善、曝気による酸素供給により貧酸素水塊発生時の水産生物の生息環境の改善技術の実証試験を実施	微細気泡装置を用いた漁場耕耘による底質の改善効果や防除幕により効果的に溶存酸素濃度を上昇させる装置の効果を確認	水産庁	平成23年度有明海漁場造成技術開発事業報告書	513~648	H24	・報告書の要約を農水省HPに掲載 ・報告書を関係県・漁連等に配布
102	(1) ③	有明海奥部(鹿児島市地先)において、カキ礁がもつ特性を利用して水質及び底質の環境改善を図り、赤潮・貧酸素水塊を抑制する技術を開発	カキ礁による水質浄化機能の検証、カキ礁の成育に適した環境条件及び増床・再生、造成技術の整理	水産庁	カキ礁による底質改善技術の開発 平成23年度報告書	全体	H24	・報告書を関係機関等に配布
103	(1) ③	有明海奥部干潟縁辺域の水塊構造、水質等を把握、実測データを再現する数値シミュレーションを実施	貧酸素水塊の発生抑制のための知見の蓄積 (貧酸素水塊の発生抑制には、汚濁負荷削減の効果は比較的小さく海域側での要素(二枚貝の生息分布拡大や潮流の増大)による影響が大きいことを検証) ・シミュレーションを用いた貧酸素水塊発生の対策に資する知見の蓄積(あくまで仮想的な条件設定による) (河川からの流入負荷と貧酸素水塊の面積には線形的な関係があること、二枚貝の湾奥貧酸素水塊に及ぼす影響は、湾奥に生息するサルボウ及びカキの資源量が大きく影響すること、潮汐と貧酸素水塊には相関関係があることが提示)	環境省	有明海貧酸素水塊発生機構解明調査報告書(H18)	全体		環境省図書館で閲覧可

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

- (1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖
 ⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進
 (2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年	公表方法
104	(1) ③	有明海における貧酸素水塊のモニタリング、貧酸素水塊の発生機構の検証と発生予防策を実施	貧酸素水塊の発生抑制のための知見の蓄積 (貧酸素水塊の発生抑制には、汚濁負荷削減の効果は比較的小さく海域側での要素(二枚貝の生息分布拡大や潮流の増大)による影響が大きいことを検証) ・シミュレーションを用いた貧酸素水塊発生の対策に資する知見の蓄積(あくまで仮想的な条件設定による) (河川からの流入負荷と貧酸素水塊の面積には線型的な関係があること、二枚貝の湾奥貧酸素水塊に及ぼす影響は、湾奥に生息するサルボウ及びヒカキの資源量が大きく影響すること、潮汐と貧酸素水塊には相関関係があることが提示)	環境省	有明海貧酸素水塊発生機構実証調査業務報告書(H19～21)	全体		環境省図書館で閲覧可
105	(1) ③	貧酸素水塊の観測データ、その他の海域環境、気象、河川等に関するデータを基に有明海の特異な海域環境を考慮に入れた、再現性の高い貧酸素水塊発生シミュレーションモデルを構築、貧酸素水塊発生に關与していると考えられる各要因の寄与度の大きさをシミュレーションモデルを使用して評価	貧酸素水塊の発生抑制のための知見の蓄積 (貧酸素水塊の発生抑制には、汚濁負荷削減の効果は比較的小さく海域側での要素(二枚貝の生息分布拡大や潮流の増大)による影響が大きいことを検証) ・シミュレーションを用いた貧酸素水塊発生の対策に資する知見の蓄積(あくまで仮想的な条件設定による) (河川からの流入負荷と貧酸素水塊の面積には線型的な関係があること、二枚貝の湾奥貧酸素水塊に及ぼす影響は、湾奥に生息するサルボウ及びヒカキの資源量が大きく影響すること、潮汐と貧酸素水塊には相関関係があることが提示)	環境省	有明海貧酸素水塊発生シミュレーションモデル調査報告書(H19～21)	全体		環境省図書館で閲覧可
106	(1) ③	有明海のカキ礁生態系が有する環境保全機能とカキ礁生態系が貧酸素水塊の発生抑制等水質浄化に及ぼす影響を調査	貧酸素水塊の発生抑制のための知見の蓄積 (貧酸素水塊の発生抑制には、汚濁負荷削減の効果は比較的小さく海域側での要素(二枚貝の生息分布拡大や潮流の増大)による影響が大きいことを検証) ・シミュレーションを用いた貧酸素水塊発生の対策に資する知見の蓄積(あくまで仮想的な条件設定による) (河川からの流入負荷と貧酸素水塊の面積には線型的な関係があること、二枚貝の湾奥貧酸素水塊に及ぼす影響は、湾奥に生息するサルボウ及びヒカキの資源量が大きく影響すること、潮汐と貧酸素水塊には相関関係があることが提示)	環境省	有明海生態系回復方策検討調査(二枚貝類の環境浄化機能解明調査)報告書(H22～H23)	全体		環境省図書館で閲覧可
107	(1) ③	赤潮調査、貝毒プランクトンの調査	貝毒の未然防止	福岡県	毎年度福岡県水産海洋技術センター事業報告書	各年度有り 22年度 179～182	H23	当県事業報告で毎年記載
108	(1) ③	定点での水質連続モニタリングを実施 底質(浮泥堆積厚、粒度組成、強熱減量、酸揮発性硫化物) 水質(潮流、濁度、溶存酸素)	貧酸素水塊発生に関する知見の蓄積 (貧酸素水塊の発生は年変動あり)	福岡県	有明海特産魚介類生息環境調査報告書(H22)	各年度有り H22 県事業報告 183～199	H23 各年度有	有明海漁場環境改善連絡協議会資料として提出。
109	(1) ③	有明海湾奥部において、水温、塩分、溶存酸素などの水質や植物プランクトンの発生状況などを調査(水産庁委託)	貧酸素水塊や赤潮の発生予測等を行うための海域環境の基礎データを蓄積、ホームページからの情報発信を実施	佐賀県	平成15年度閉鎖性海域赤潮被害防止対策事業報告書	1～151	H19	
110	(1) ③	同上	同上	佐賀県	平成20年度漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業 赤潮・貧酸素水塊漁業被害防止対策事業 貧酸素水塊漁業被害防止対策報告書	3～50 51～64 65～78 79～88	H21	
111	(1) ③	同上	同上	佐賀県	平成21年度漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業 赤潮・貧酸素水塊漁業被害防止対策事業 貧酸素水塊漁業被害防止対策報告書	3～30 35～50 51～70 71～81	H22	
112	(1) ③	同上	同上	佐賀県	平成22年度漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業 赤潮・貧酸素水塊漁業被害防止対策事業 貧酸素水塊漁業被害防止対策報告書	3～42. 47～61 63～78 79～90	H23	
113	(1) ③	同上	同上	佐賀県	フィロコブサガノリ養殖に及ぼす影響(研究報告21号)	111～118	H15	・冊子で配布 ・HP上で公開
114	(1) ③	同上	同上	佐賀県	2007年夏季に有明海佐賀県海域で発生したChattonella赤潮(研究報告24号)	39～47	H21	・冊子で配布 ・HP上で公開
115	(1) ③	同上	同上	佐賀県	有明海佐賀県海域におけるノリ漁期の植物プランクトンの出現動向(1689～2010)(研究報告25号)	21～35	H23	・冊子で配布 ・HP上で公開
116	(1) ③	同上	同上	佐賀県	有明海佐賀県海域におけるChattonella赤潮の発生予測(短報)(日本プランクトン学会報58(1))	18～22	H23	学会誌
117	(1) ③	同上	同上	佐賀県	2009年から2011年の有明海佐賀県海域におけるChattonella赤潮と貧酸素水塊(研究報告26号)	全体	H24	

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

- (1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖
⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進

- (2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年	公表方法
118	(1) ③	有明海佐賀県海域において、貝毒プランクトンの調査、貝毒の検査を実施(水産庁補助)	有明海佐賀県海域における貝毒の未然防止	佐賀県	赤潮情報	全体	随時	・冊子で配布 ・HP上で公開
119	(1) ③	有明海佐賀県沿岸のサルボウ漁場内において、シミュレーション及び現場試験によるノリ支柱を用いた貧酸素被害軽減の可能性の検討を実施(水産庁委託)	ノリ支柱を一定の配置で設置することにより、貧酸素状態を若干緩和できる可能性が示唆	佐賀県	平成23年度漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業 赤潮・貧酸素水塊漁業被害防止対策事業 貧酸素水塊漁業被害防止対策報告書	3~43 49~60 61~79 81~93	H24	
120	(1) ③	シャットネラ赤潮のモニタリングの実施	諫早湾及び橋湾で発生したシャットネラ赤潮に関する知見の集積(H22年7月5日に諫早湾で発生したものは、湾外から低塩分の水塊として流れ込んだものであること、H21とH22に橋湾で甚大な漁業被害を出したものは、有明海から低塩分の水塊として流れ込んだものと推定)	長崎県	水産開発No.109	9~14	H23	社団法人長崎県漁港漁協 会発行の雑誌に掲載
121	(1) ③	諫早湾の干潟域(アサリ養殖場)の貧酸素化の発生予測に資する水質環境等の調査を実施(水産庁補助)	貧酸素水塊の発生状況に関する知見の蓄積 (アサリのへい死を招く溶存酸素濃度0.5mg/L以下の強い貧酸素水塊は、「風が弱い(日平均で5m/s以下)」、「赤潮が発生」、「小潮時期」の3つの条件が揃ったときに発生)	長崎県	水産工学.VOL.47.No.1	53~62	H22	学会誌に掲載
122	(1) ③	諫早湾内のアサリ漁場への高濃度酸素水の供給(農林水産省委託)	高濃度酸素水の潮流の影響を受けた拡散範囲(250m程度)を把握、また、拡散範囲における底質中の硫化物の改善を確認(H21の調査開始以降、貧酸素によるアサリのへい死は確認されていない)	長崎県	平成23年度有明海特産魚介類生息環境調査(長崎県沖)業務報告書	3~23		
123	(1) ③	干潟域の貧酸素化によるアサリの大量へい死対策として、試験レベルの技術開発を実施(水産庁委託) (ブルーシート方式の実施、アサリを丸カゴに8kgずつ収容してカキの養殖筏に吊るして退避させる方式の開発)	貝殻散布による底質環境の改善を図った漁場環境において、底生生物の増加を確認ブルーシート方式の有効性を確認(アサリ生存率は試験区で91%、対照区で59%、底質の硫化物量は試験区で0.09mg/g乾重、対照区で0.17mg/g乾重との結果)カキ筏へ吊るす方式においても高い生存率を確保 (H20年7月30日~9月9日まで退避させることにより93%の生存率を確保)	長崎県	水産工学.VOL.47.No.1	53~62	H22	学会誌に掲載
124	(1) ③	同上	同上	長崎県	水産増殖.59(3)	435~442	H23	学会誌に掲載
125	(1) ③	有明海において夏季赤潮調査(6~8月:週1回)、水質調査(5地点:月1回)を実施(水産庁委託)	有明海及び八代海における貧酸素水塊及び赤潮の発生動向の把握	熊本県	平成19年度閉鎖性海域赤潮被害防止対策事業Ⅰ	103~104	H20	水産研究センター事業報告書として公開
126	(1) ③	同上	同上	熊本県	平成20年度閉鎖性海域赤潮被害防止対策事業Ⅰ	124~125	H21	水産研究センター事業報告書として公開
127	(1) ③	同上	同上	熊本県	平成21年度閉鎖性海域赤潮被害防止対策事業Ⅰ	150~151	H22	水産研究センター事業報告書として公開
128	(1) ③	同上	同上	熊本県	平成22年度閉鎖性海域赤潮被害防止対策事業Ⅰ	153~155	H23	水産研究センター事業報告書として公開
129	(1) ③	八代海において夏季のコロドニウム赤潮調査、水質調査(月1回)を実施(水産庁委託)	有明海及び八代海における貧酸素水塊及び赤潮の発生動向の把握	熊本県	平成19年度閉鎖性海域赤潮被害防止対策事業Ⅱ	105~106	H20	水産研究センター事業報告書として公開
130	(1) ③	同上	同上	熊本県	平成20年度閉鎖性海域赤潮被害防止対策事業Ⅱ	126~129	H21	水産研究センター事業報告書として公開
131	(1) ③	同上	同上	熊本県	平成21年度閉鎖性海域赤潮被害防止対策事業Ⅱ	152~153	H22	水産研究センター事業報告書として公開
132	(1) ③	同上	同上	熊本県	平成22年度閉鎖性海域赤潮被害防止対策事業Ⅱ	156~157	H23	水産研究センター事業報告書として公開
133	(1) ③	八代海において貧酸素水塊のモニタリングを実施(水産庁補助) (赤潮調査定点(12地点)のうち2~4点を対象に溶存酸素の鉛直測定を実施)	貧酸素水塊の発生状況の把握 (溶存酸素4mg/Lを下回る貧酸素水塊は観測されていない)	鹿児島県	平成23年度漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業 赤潮・貧酸素水塊漁業被害防止対策事業 八代海・鹿児島湾における有害赤潮等分布拡大防止調査報告書	17~25	H24	・報告書を関係機関に送付 ・図書室に所蔵
134	(1) ③	薄層浚渫による赤潮原因物質の除去等、底質改善効果の検証を実施(水産庁補助)	薄層浚渫工法による赤潮シストの除去を確認	鹿児島県	H23年度赤潮対策底質改善実証事業関係資料	全体	未公表	
135	(1) ④	有明海においてナルトビエイの分布や摂餌状況等を調査	ナルトビエイに関する知見の蓄積 4月から11月頃まで有明海全域に分布し、水温が16℃以下になると湾外へ移動 有明海へのナルトビエイの来遊量は推定十数万個体 餌は二枚貝類が主体であり、捕獲実績等から二枚貝類摂餌量は約5,000トン以上と試算	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第4回)(H19.3)資料(H18年度調査について)	33~38	H18	会議資料として公表

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

- (1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖
 ⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進
 (2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年	公表方法
136	(1) ④	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第6回)(H20.3)資料(H19年度調査について)	7~8	H19	会議資料として公表
137	(1) ④	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第7回)(H20.9)資料(H20年度調査について)	9~10	H20	会議資料として公表
138	(1) ④	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第8回)(H21.3)資料(H20年度調査について)	15~20	H20	会議資料として公表
139	(1) ④	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第9回)(H21.10)資料(H21年度調査について)	9~10	H21	会議資料として公表
140	(1) ④	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第10回)(H22.3)資料(H21年度調査について)	15~20	H21	会議資料として公表
141	(1) ④	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第11回)(H22.9)資料(H22年度調査について)	21~24	H22	会議資料として公表
142	(1) ④	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第12回)(H23.3)資料(H22年度調査について)	29~36	H22	会議資料として公表
143	(1) ④	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第13回)(H23.11)資料(H22年度調査について)	15~17	H23	会議資料として公表
144	(1) ④	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第14回)(H24.3)資料(H18年度調査について)	22~28	H23	会議資料として公表
145	(1) ④	福岡県大牟田沖、佐賀県太良沖において凹凸タイラギ漁場再生のための覆砂技術等の実証調査を実施	凹凸覆砂型工により浮泥堆積の抑制及び浮遊幼生の着底が増加する効果を確認(大牟田沖)、薄まき覆砂工により全硫化物の抑制効果を確認	水産庁	水産基盤整備実証調査報告書(H23調査分まで)	全体	H25予定	調査終了後水産庁HPに掲載(H20~H24調査)
146	(1) ④	ガザミを対象として、漁獲サイズの制限や禁漁期の設定、抱卵ガザミの保護等の資源管理を実施(有明4県の漁業者)	有明海においてガザミ漁獲量は低位ながら安定	福岡県	毎年ガザミ資源回復計画会議資料として水産庁に提出。当県事業報告有り。	各年度有 22年度 県事業報告 140	H23 各年度有	資源回復計画会議資料として水産庁に提出。当県事業報告有り
147	(1) ④	ガザミの標識放流、放流効果や移動・分布などの生態調査を実施(農林水産省補助)	有明海においてガザミ漁獲量は低位ながら安定	福岡県	・有明海漁業振興技術開発事業報告書・会議資料として提出、当県事業報告有り	各年度有 22年度 県事業報告 220~224	H23 各年度有	有明海漁場環境改善連絡協議会資料として提出。当県事業報告としても公表
148	(1) ④	有明海においてクルマエビの放流効果調査を実施(沿海の福岡県、佐賀県、熊本県、長崎県と共同で年間約800~1000万尾放流、うち福岡県分は約270万尾)(農林水産省補助)	ガザミ、クルマエビの放流について、放流場所や放流時期、放流サイズ等放流方法の違いによる放流効果を検証中	福岡県	・有明4県クルマエビ共同放流事業報告書 ・有明海漁業振興技術開発事業報告書・会議資料として提出。H22年度当県事業報告	各年度有 22年度 県事業報告 129~	H23 各年度有	有明海漁場環境改善連絡協議会資料として提出。当県事業報告としても公表
149	(1) ④	浮泥の堆積、貧酸素水塊の発生状況等底層環境のモニタリングとタイラギ生息状況について、4定点を設置し2回のペースで継続的に調査を実施	タイラギに適した底質環境の解明(浮泥厚1cm以下、硫化物0.1mg/g乾泥以下、強熱減量5%未満、泥分率30%未満、中央粒径値3未満)	福岡県	福岡県水産海洋技術センター研究報告20号	53~60	H22	有明海漁場環境改善連絡協議会資料として提出。当県研究報告としても公表
150	(1) ④	エツ種育苗生産において単位生産量の増加、種苗の健全性の向上および省力化技術の開発(農林水産省補助)	エツの種苗生産では、ワムシの培養水の塩分濃度試験により、0.7%での安定生産が可能に(通常は2%)	福岡県	有明海漁業振興技術開発事業報告書(有明海漁場環境改善連絡協議会資料としても提出)H23年度県事業報告原稿有り(未公表)	この成果は23年度県事業報告未公表	H24 発行予定 編集中	有明海漁場環境改善連絡協議会資料として提出。当県事業報告原稿もあり
151	(1) ④	有明海においてナルトビエイの駆除を実施	ナルトビエイの分布、産仔状況を把握	福岡県	毎年度福岡県水産海洋技術センター事業報告書に記載	各年度有 22年度 県事業報告 217~219	H23 各年度有	当県事業報告としても公表
152	(1) ④	ガザミを対象として、漁獲サイズの制限や禁漁日の設定、抱卵ガザミの保護等の資源管理を実施(有明4県の漁業者)	12cm以下(佐賀県では15cm以下)の小型ガザミや抱卵した親ガザミの再放流などによる資源保護の実施	佐賀県	有明海ガザミ資源回復計画(国策定)(H24年2月から有明海ガザミ広域資源管理指針:有明4県)	全体	H20	水産庁HP掲載
153	(1) ④	有明海佐賀県海域において、ガザミの標識放流、放流効果や移動・分布などの生態調査を実施(農林水産省補助)	ガザミ種苗(C3、C5)約130万を放流(H21~23)	佐賀県	有明海漁業振興技術開発事業結果報告書(平成21~23年度)	20~26		
154	(1) ④	従来よりも大型のガザミ種苗の大量放流、DNA標識を施した放流ガザミの漁獲状況等の把握(農林水産省補助)	ガザミ種苗(C3、C5)約130万を放流(H21~23)	佐賀県	有明海漁業振興技術開発事業結果報告書(平成21~23年度)	20~26		
155	(1) ④	同上	同上	佐賀県	ガザミ放流種苗における遊泳脚切り込み標識の有効性(研究報告22号)	65~67	H16	・冊子で配布 ・HP上で公開
156	(1) ④	同上	同上	佐賀県	軟甲ガザミの短期蓄養による商品価値の向上試験(研究報告23号)	21~23	H19	・冊子で配布 ・HP上で公開
157	(1) ④	有明海においてクルマエビの放流効果調査を実施(沿海の福岡県、佐賀県、熊本県、長崎県と共同で年間約800~1000万尾放流、うち佐賀県分は約140万尾)	クルマエビ690万尾を放流(H19~23)(4県合計で3,424万尾(H19~22)) 漁獲量の増加には結びつかず	佐賀県	佐賀県有明海における主な振興事業の取組状況(佐賀県水産課取りまとめ資料)	全体		

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

- (1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖
 ⑤ 持続的なナリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進
 (2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年	公表方法
158	(1) ④	従来よりも大型のクルマエビ種苗の大量放流、DNA標識を施した放流エビの漁獲状況等の把握(農林水産省補助)	大型のクルマエビ(30mm、50mm)726万尾を放流(H21~23) DNA標識の解析により、放流種苗が成長し、親エビとなって再生産に寄与している可能性が示唆	佐賀県	有明海漁業振興技術開発事業結果報告書(平成21~23年度)	11~19		
159	(1) ④	同上	同上	佐賀県	有明海佐賀県海域におけるクルマエビ標識種苗の採捕尾数の推定と誤差評価(研究報告21号)	1~5	H15	・冊子で配布 ・HP上で公開
160	(1) ④	同上	同上	佐賀県	佐賀県有明海におけるクルマエビ漁業-II(研究報告25号)	9~16	H23	・冊子で配布 ・HP上で公開
161	(1) ④	同上	同上	佐賀県	DNAマーカーを用いたクルマエビ種苗の放流効果(研究報告26号)	全体	H24	・冊子で配布 ・HP上で公開
162	(1) ④	有明海佐賀県沿岸において、ナルトビエイを捕獲	ナルトビエイ約214トンを駆除(H19~23) ナルトビエイに関するデータ収集、ナルトビエイ被害防止検討委員会における検討(捕獲魚が小型化する傾向あり)	佐賀県	佐賀県有明海における主な振興事業の取組状況(佐賀県水産課取りまとめ資料)	全体		
163	(1) ④	アゲマキ稚貝の種苗生産技術と、干潟域における放流技術を開発	アゲマキ稚貝約25万個の放流(H19~20) 殻長10mmサイズの稚貝を10万個単位で生産する技術を確認、数万個の小規模放流についても、漁獲サイズまでの生残率が30%程度となる放流技術の確立に目処	佐賀県	アゲマキ稚貝(7~8mm)の生産技術マニュアル(研究報告26号)	全体	H24	・冊子で配布 ・HP上で公開
164	(1) ④	同上	同上	佐賀県	有明海佐賀県海域における天然アゲマキの発生(研究報告21号)	41~43	H15	・冊子で配布 ・HP上で公開
165	(1) ④	同上	同上	佐賀県	有明海におけるアゲマキ人工種苗の成長と成熟(研究報告21号)	45~50	H15	・冊子で配布 ・HP上で公開
166	(1) ④	同上	同上	佐賀県	アゲマキ種苗の大量生産技術開発に関する研究(研究報告22号)	47~54	H16	・冊子で配布 ・HP上で公開
167	(1) ④	同上	同上	佐賀県	有明海におけるアゲマキ人工種苗の成長と成熟-II(研究報告24号)	1~4	H21	・冊子で配布 ・HP上で公開
168	(1) ④	同上	同上	佐賀県	アゲマキによる付着珪藻の取り込みについて(研究報告24号)	5~8	H21	・冊子で配布 ・HP上で公開
169	(1) ④	同上	同上	佐賀県	アゲマキ放流稚貝の生残・成長と底質(物理環境)との関係(研究報告26号)	全体	H24	・冊子で配布 ・HP上で公開
170	(1) ④	アゲマキの稚貝を大量に種苗生産する技術の開発、有明海佐賀県沿岸の干潟域において、生産したアゲマキ稚貝を大量に放流する技術の開発(農林水産省補助)	6地区で合計約210万個のアゲマキ種苗を放流(H21~22) それらの追跡調査により、放流に適した干潟の地盤高や底質等について知見を整理中(干潟で成長した放流種苗の生殖腺を組織学的に観察した結果、放卵、放精していたことが確認)	佐賀県	有明海漁業振興技術開発事業結果報告書(平成21~23年度)	6~10		
171	(1) ④	クマサルボウの種苗生産、中間育成および放流技術の開発	室内での採卵技術やふ化幼生から殻長8mmまでの稚貝を飼育する技術を開発(約7か月後の生残は5~10%)	佐賀県	有明海湾奥部におけるクマサルボウの種苗生産に関する研究-I 採卵と発生(研究報告21号)	23~28	H15	・冊子で配布 ・HP上で公開
172	(1) ④	有明海佐賀県海域において、サルボウガイの浮遊幼生の出現状況や稚貝の分布状況、アサリの生息状況を調査、情報提供を実施	サルボウの適正な生息環境に関する知見の蓄積 (夏場の大量へい死の原因が大雨による塩分低下や貧酸素であること、このような環境条件の中でも、生き残る漁場を有効活用することにより、資源の安定を図ることができる可能性を確認)	佐賀県	サルボウ採苗情報	全体		・HP上で公開
173	(1) ④	同上	同上	佐賀県	有明海湾奥部におけるサルボウの漁業実態と分布状況(研究報告21号)	29~36	H15	・冊子で配布 ・HP上で公開
174	(1) ④	同上	同上	佐賀県	有明海湾奥部におけるサルボウ稚貝の発生と気象条件について(研究報告24号)	13~18	H22	・冊子で配布 ・HP上で公開
175	(1) ④	同上	同上	佐賀県	2011年の秋季から冬季にかけて発生したサルボウの異常斃死(研究報告26号)	全体	H24	・冊子で配布 ・HP上で公開
176	(1) ④	有明海佐賀県太良町沿岸の干潟において、沖合漁場に生息するタイラギ稚貝を移植する技術を開発(農林水産省補助)	タイラギ稚貝の移植に関する知見の蓄積 (干潟にばらまく方法でも十分移植が可能なこと、干潟に移植した稚貝の閉殻筋(貝柱)は、沖合の稚貝よりも大きくなることなどを確認)	佐賀県	有明海漁業振興技術開発事業結果報告書(平成21~23年度)	1~5		

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

- (1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖
 ⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進
 (2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年	公表方法
177	(1) ④	有明海佐賀県沿岸のサルボウ漁場において、水温、塩分、溶存酸素などの水質や粒度組成などの底質、さらにサルボウの生息状況などを詳細に調査(農林水産省委託)	サルボウの適正な生息環境に関する知見の蓄積 (夏場の大量へい死の原因が大雨による塩分低下や貧酸素であること、このような環境条件の中でも、生き残る漁場を有効活用することにより、資源の安定を図ることができると可能性を確認)	佐賀県	平成23年度有明海特産魚介類生息環境調査(佐賀県沖)サルボウの生息環境調査のうち水質調査結果報告書(平成21～23年度取りまとめ含む)	1～8		
178	(1) ④	同上	同上	佐賀県	平成23年度有明海特産魚介類生息環境調査(佐賀県沖)サルボウの生息環境調査のうち成育環境調査(底質・直上水)及び生息調査 結果報告書(平成21～23年度取りまとめ含む)	1～40		
179	(1) ④	同上	同上	佐賀県	平成23年度有明海特産魚介類生息環境調査(佐賀県沖)サルボウの適正生息環境調査のうち貧酸素条件緩和効果把握解析調査 結果報告書	1～34		
180	(1) ④	有明海特産魚介類の種苗放流を中心とした増養殖技術開発(クルマエビ、ガザミ、トラフグ、ヒラメ、ホシガレイ、オニオコゼ、カサゴの放流技術の改善及びタイラギ、シタビラメ、メイタガレイの安定した種苗生産技術と増養殖技術の開発)(農林水産省補助)	新しい標識技術(DNAマーカー)による放流効果推定の手法を開発(クルマエビ、ガザミ) 放流場所別の回収率や全漁獲尾数(当歳魚)に占める当事業の放流魚の貢献度が判明(H21:7%、H22:24%)(トラフグ) 放流サイズの大型化(4cm→10～15cm)による高い回収率(15cm:20%)(ホシガレイ) 3cmサイズまでの種苗生産技術をほぼ確立(メイタガレイ) 好条件の場所への移植により、6～8割の生残が確認され、移植技術の定着による事業化の可能性が示唆(タイラギ)	長崎県	平成21年度長崎県総合水産試験場事業報告	45～48 67 84～86	H22	・ホームページに掲載 ・報告書を公開
181	(1) ④	同上	同上	長崎県	平成22年度長崎県総合水産試験場事業報告	40～43 61 82～84	H23	・ホームページに掲載 ・報告書を公開
182	(1) ④	有明海においてクルマエビの放流を実施(沿海の福岡県、佐賀県、熊本県、長崎県と共同で年間に約800～1000万尾放流、うち長崎県分は約300万尾)	クルマエビ漁獲の下支えに寄与(年によっては、クルマエビ漁獲量の2割を放流クルマエビが占める)	長崎県	H23年度有明海資源回復共同放流推進事業実績報告書	全体		
183	(1) ④	有明海におけるトラフグ種苗50万尾/年の放流効果を向上させるとともに、共同放流事業実施に向けたデータ収集と共同放流推進体制の整備を実施(農林水産省補助)	3～5月にかけて有明海に産卵帰したトラフグ親魚のH23の水揚量は15トンとなり、前年を上回りH11年以降最高値 過去7か年平均(H16～H22年、9.6トン)の1.7倍 ※上記に記載ミス有:正は、7か年平均(10.2トン)の1.5倍	長崎県	有明海におけるトラフグ種苗放流等事業 長崎県総合水産試験場内部資料	全体		
184	(1) ④	ガザミを対象として、漁獲サイズの制限や禁漁期の設定、抱卵ガザミの保護等の資源管理を実施(有明4県の漁業者)	H21の有明海主要漁協のガザミ漁獲量は、過去3か年の平均に比べて1割程度増加	長崎県	国策定による有明海ガザミ資源回復計画に基づく資料	全体		
185	(1) ④	有明海において抱卵ガニ16千尾/年を養殖・産卵(ガザミ)	H21の有明海主要漁協のガザミ漁獲量は、過去3か年の平均に比べて1割程度増加	長崎県	H21年度資源を育む長崎の海づくり事業(ガザミ産卵支援事業)実績報告書(有明海3漁協分)	全体		
186	(1) ④	有明海において人工種苗の小型貝20万個/年を禁漁区に放流し(H19～21年度)、一定期間の禁漁後、漁獲量の制限等を行い、持続的な生産を実践・実証(アカガイ)		長崎県	H19～21年度資源を育む長崎の海づくり事業(アカガイ種苗購入事業)実績報告書(3事業主体分)、H21～23年度同事業(アカガイ放流種苗追跡調査等委託事業)実績報告書(3事業主体分)	全体		
187	(1) ④	諫早湾におけるカキ養殖業の振興(カキ筏設置37基)	アサリ、カキの安定生産に寄与(諫早湾のカキ生産量は、H19年度:52t、H20:420t、H21:324t、H22:212t(漁協報告))	長崎県	・新世紀水産業創出事業報告書(H13～22) ・新生水産県ながさき総合支援事業報告書(H23～24)	全体		全体をとりまとめた報告書はなし 個別の実績報告書は提供不可
188	(1) ④	諫早湾内の漁協が実施するアサリ、カキの種苗放流、漁場耕耘、砂投入等の事業に対する助成を実施	アサリ、カキの安定生産に寄与(諫早湾のカキ生産量は、H19年度:52t、H20:420t、H21:324t、H22:212t(漁協報告))	長崎県	諫早湾内の漁協が実施するアサリ、カキの種苗放流、漁場耕耘、砂投入等の事業に対する助成事業 各実績報告書	全体		全体をとりまとめた報告書はなし 個別の実績報告書は提供不可
189	(1) ④	諫早湾において覆砂・天然の両漁場におけるタイラギの生息状況を夏春にかけて毎月比較調査	諫早湾内のタイラギの生息状況に関する知見の蓄積 (覆砂漁場では天然漁場に比較すると生息数は多い。H20発生群の稚貝は近年では多く確認され、5分間の潜水調査での最高発見時(H21年1月)には、覆砂漁場では平均86個、天然漁場では41個が確認) ※上記に記載ミス有:正は、覆砂漁場では平均95個、天然漁場では39個が確認	長崎県	平成20年度長崎県総合水産試験場事業報告	75～77	H21	・ホームページに掲載 ・報告書を公開
190	(1) ④	タイラギ種苗生産技術の開発	H18年度に、20mmサイズの稚貝1千個を生産(H19、20年度は3個の着底稚貝の生産まで、安定生産には至らず)	長崎県	平成18年度長崎県総合水産試験場事業報告	116～117	H19	・ホームページに掲載 ・報告書を公開
191	(1) ④	同上	同上	長崎県	平成19年度長崎県総合水産試験場事業報告	89～91	H20	・ホームページに掲載 ・報告書を公開
192	(1) ④	同上	同上	長崎県	平成20年度長崎県総合水産試験場事業報告	78～79	H21	・ホームページに掲載 ・報告書を公開

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

- (1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖
 ⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進
 (2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年	公表方法
193	(1) ④	タイラギの稚貝から出荷サイズの成貝までの一貫した養殖技術(採苗方法、中間育成方法、養殖方法)を開発(農林水産省補助)	H18年度に、20mmサイズの稚貝1千個を生産(H19、20年度は3個の着底稚貝の生産まで、安定生産には至らず)	長崎県	平成18～20年度大型二枚貝類タイラギの稚貝から出荷サイズの成貝までの一貫した養殖技術の開発報告書	全体	H21	(独)水産総合研究センター西海区水産研究所が実施
194	(1) ④	マガキシングルシード(1粒種苗)の種苗生産技術、養殖技術の開発	10mmサイズで10万個以上の量産技術を人工採苗・天然採苗ともに開発(～H22)、人工採苗では早期採卵(2月)の生産技術を開発(マガキ) H23年度は早期産卵(3～5月)によるシングルシード(10～30mm)を生産し、諫早湾で養殖試験を実施(マガキ)	長崎県	平成22年度長崎県総合水産試験場事業報告	63～65	H23	・ホームページに掲載 ・報告書を公開
195	(1) ④	同上	同上	長崎県	平成23年度長崎県総合水産試験場事業報告	55～56	H24	・ホームページに掲載 ・報告書を公開
196	(1) ④	有用二枚貝等の稚貝発生状況と漁場関係の把握(農林水産省委託)	アサリ漁場に被覆網を設置した場合のナルトビエイや魚類からの食害の防除効果を確認	長崎県	平成23年度有明海特産魚介類生態環境調査(長崎県沖)業務報告書	30～40		
197	(1) ④	有明海及び八代海において成層、貧酸素等の発生状況、栄養塩類の状況等を調査(一部水産庁補助・委託)	アサリ、ハマグリ等の二枚貝の資源回復に資する知見の蓄積 マダイ、ヒラメ等魚類の資源回復に資する知見の蓄積	熊本県	平成19年度有明海・八代海等漁場環境管理調査Ⅰ	91～92	H20	水産研究センター事業報告書として公開
198	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成20年度有明海・八代海等漁場環境管理調査Ⅰ	111～113	H21	水産研究センター事業報告書として公開
199	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成21年度有明海・八代海等漁場環境管理調査Ⅰ	143～145	H22	水産研究センター事業報告書として公開
200	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成22年度有明海・八代海等漁場環境管理調査Ⅰ	160～162	H23	水産研究センター事業報告書として公開
201	(1) ④	有明海においてクルマエビの放流を実施(沿海の福岡県、佐賀県、熊本県、長崎県と共同で年間に約800～1000万尾放流、うち熊本県分は約500万尾)(農林水産省補助)	マダイ、ヒラメ等魚類の資源回復に資する知見の蓄積	熊本県	平成19年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H20	冊子により
202	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成20年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H21	冊子により
203	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成21年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H22	冊子により
204	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成22年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H23	冊子により
205	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成21年度有明海漁業振興技術開発事業結果報告書(熊本県)	全体	H22	紙面により
206	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成22年度有明海漁業振興技術開発事業結果報告書(熊本県)	全体	H23	紙面により
207	(1) ④	有明海緑川河口域においてアサリの餌(プランクトン等)の量とアサリの活力(肥満度等)との関連を調査	アサリ、ハマグリ等の二枚貝の資源回復に資する知見の蓄積	熊本県	平成21年度二枚貝資源回復調査	195～199	H23	水産研究センター事業報告書として公開
208	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成22年度二枚貝資源安定化対策事業報告書	216～220	H23	水産研究センター事業報告書として公開
209	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成19年度二枚貝資源回復調査報告書	136～142	H20	水産研究センター事業報告書として公開
210	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成20年度二枚貝資源回復調査報告書	161～167	H21	水産研究センター事業報告書として公開
211	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成21年度二枚貝資源回復調査報告書	195～199	H22	水産研究センター事業報告書として公開
212	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成22年度二枚貝資源安定化対策事業報告書	213～215	H23	水産研究センター事業報告書として公開
213	(1) ④	八代地先のダム堆積砂を使った覆砂造成地においてアサリ稚貝の発生状況等を調査	アサリ、ハマグリ等の二枚貝の資源回復に資する知見の蓄積	熊本県	平成19年度二枚貝資源回復調査報告書	150～152	H20	水産研究センター事業報告書として公開

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

(1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖

⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進

(2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年	公表方法
214	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成20年度二枚貝資源回復調査報告書	175~178	H21	水産研究センター事業報告書として公開
215	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成21年度二枚貝資源回復調査報告書	191~194	H22	水産研究センター事業報告書として公開
216	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成22年度水域環境保全創造事業報告書	233~235	H23	水産研究センター事業報告書として公開
217	(1) ④	菊池川及び緑川河口域においてハマグリノの生息状況を、緑川河口域において浮遊幼生の発生や貝の移動状況を調査	アサリ、ハマグリ等の二枚貝の資源回復に資する知見の蓄積	熊本県	平成19年度二枚貝資源回復調査報告書	164~177	H20	水産研究センター事業報告書として公開
218	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成20年度二枚貝資源回復調査報告書	190~201	H21	水産研究センター事業報告書として公開
219	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成21年度二枚貝資源回復調査報告書	211~222	H22	水産研究センター事業報告書として公開
220	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成22年度二枚貝資源安定化対策事業報告書	221~232	H23	水産研究センター事業報告書として公開
221	(1) ④	アサリ、ハマグリ等の二枚貝の資源回復に関して得られた調査結果により、資源状況を解析し、年間3~4回の頻度で関係漁協への講習会を開催	アサリ、ハマグリ等の二枚貝の資源回復に資する知見の蓄積 マダイ、ヒラメ等魚類の資源回復に資する知見の蓄積	熊本県	平成19年度二枚貝資源回復調査報告書	136~142	H20	水産研究センター事業報告書として公開
222	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成20年度二枚貝資源回復調査報告書	161~167	H21	水産研究センター事業報告書として公開
223	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成21年度二枚貝資源回復調査報告書	187~190	H22	水産研究センター事業報告書として公開
224	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成22年度二枚貝資源安定化対策事業報告書	209~212	H23	水産研究センター事業報告書として公開
225	(1) ④	有明海・八代海において放流されるマダイ、ヒラメ、クルマエビ、ヨシエビ、ガザミ類等を生産・配付	マダイ、ヒラメ等魚類の資源回復に資する知見の蓄積	熊本県	水産動物の種苗生産業務等の業務処理報告書	全体	-	
226	(1) ④	栽培漁業地域展開協議会が実施するマダイ、ヒラメ、クルマエビの共同放流事業を支援	マダイ、ヒラメ等魚類の資源回復に資する知見の蓄積	熊本県	熊本県栽培漁業地域展開協議会放流実績	全体	-	
227	(1) ④	マダイ、ヒラメ、クルマエビの混獲率、回収率を把握	マダイ、ヒラメ等魚類の資源回復に資する知見の蓄積	熊本県	H19年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H20	冊子により公表
228	(1) ④	同上	同上	熊本県	H20年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H21	冊子により公表
229	(1) ④	同上	同上	熊本県	H21年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H22	冊子により公表
230	(1) ④	同上	同上	熊本県	H22年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H23	冊子により公表
231	(1) ④	同上	同上	熊本県	H19年度栽培漁業資源回復等対策事業報告書	全体	H20	冊子により公表
232	(1) ④	同上	同上	熊本県	H20年度栽培漁業資源回復等対策事業報告書	全体	H21	冊子により公表
233	(1) ④	同上	同上	熊本県	H21年度栽培漁業資源回復等対策事業報告書	全体	H22	冊子により公表
234	(1) ④	同上	同上	熊本県	H22年度栽培漁業資源回復等対策事業報告書	全体	H23	冊子により公表
235	(1) ④	ガザミ資源回復のため、たも網及びすくい網の採捕禁止期間等の漁獲努力量削減措置を実施	マダイ、ヒラメ等魚類の資源回復に資する知見の蓄積	熊本県	有明海ガザミ資源回復計画の評価・総括資料	全体	-	

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

- (1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖
⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進

- (2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年	公表方法
236	(1) ④	アサリ及びヒラメ資源を回復させるため、アサリの殻長制限及びヒラメの保護区設定等の漁獲努力量削減措置を実施	アサリ、ハマグリ等の二枚貝の資源回復に資する知見の蓄積 マダイ、ヒラメ等魚類の資源回復に資する知見の蓄積	熊本県	平成19年度二枚貝資源回復調査報告書	136～142	H20	水産研究センター事業報告書として公開
237	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成20年度二枚貝資源回復調査報告書	161～167	H21	水産研究センター事業報告書として公開
238	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成21年度二枚貝資源回復調査報告書	187～190	H22	水産研究センター事業報告書として公開
239	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成22年度二枚貝資源安定化対策事業報告書	209～212	H23	水産研究センター事業報告書として公開
240	(1) ④	有明海においてナルトビエイの駆除を実施	ナルトビエイ約403トンを駆除(H14～22)	熊本県	ナルトビエイ被害防止検討委員会資料	全体	—	報告書等なし
241	(1) ④	熊本県沿岸を含む東シナの対馬暖流系群のアジ、サバ類、イワシ類、マダイ、ヒラメ等の水産資源を調査(水産庁委託)	マダイ、ヒラメ等魚類の資源回復に資する知見の蓄積	熊本県	我が国周辺水域の資源評価	全体	事業年度の翌年	冊子、HPIにより公表
242	(1) ④	有明海・八代海、天草西海において、本県有用魚種の浮遊期稚魚の発生量及び分布状況を調査	マダイ、ヒラメ等魚類の資源回復に資する知見の蓄積	熊本県	平成19年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H20	冊子により公表
243	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成20年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H21	冊子により公表
244	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成21年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H22	冊子により公表
245	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成22年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H23	冊子により公表
246	(1) ④	八代海で漁獲されるカタクチイワシ(シラス)について、卵、仔稚魚の分布及び外海からの資源加入状況等を調査	マダイ、ヒラメ等魚類の資源回復に資する知見の蓄積	熊本県	平成19年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H20	冊子により公表
247	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成20年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H21	冊子により公表
248	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成21年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H22	冊子により公表
249	(1) ④	同上	同上	熊本県	平成22年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H23	冊子により公表
250	(1) ④	長島町全域においてヒラメの放流を実施(7万尾/年)	ヒラメ、アワビ等魚類、貝類の資源増養、漁獲量の増加に寄与	鹿児島県	特定離島ふるさとおこし推進事業報告書	全体	未公表	個別の報告書等なし
251	(1) ④	獅子島、桂島沿岸域においてカサゴ(120千尾)、オコゼ(7千尾)、アワビ(81千個)、ナマコ(55千個)の放流を実施	ヒラメ、アワビ等魚類、貝類の資源増養、漁獲量の増加に寄与	鹿児島県	獅子島、桂島沿岸域におけるカサゴ、オコゼ、アワビ、ナマコの放流事業に関する資料	全体	H24	長島町ホームページに掲載(獅子島のみ)
252	(1) ④	獅子島、桂島沿岸域においてイカ柴、タコソボ、間伐材漁礁の設置を実施	アオリイカ、マダコ等の産卵を確認、魚礁への魚類集積を確認	鹿児島県	獅子島、桂島沿岸域におけるイカ柴、タコソボ、間伐材漁礁の設置に関する資料	全体	H24	長島町ホームページに掲載(獅子島のみ)
253	(1) ④	研究機関によるマダコの生態調査、データの漁業者への提供を実施	タコソボ業者会において、300g以下の小型タコは再放流することを決定	鹿児島県	研究機関によるマダコの生態調査、データの漁業者への提供事業に関する資料	全体		報告書等なし
254	(1) ⑤	有明海において河川水によるノリ漁場への栄養塩供給効果が最も発揮される条件等の解明	河川水を最大限活用するためのノリ網の効果的な配置が実施可能に ダムからの上乗せ放水を知事が要請する際に最低限必要な放流量、放水時間の客観的データが提示可能に	水産庁	平成19年度新たなノリ色落ち対策技術開発事業河川水最適利用技術の開発報告書	1～39	H20	必要があればコピー等を送付
255	(1) ⑤	同上	同上	水産庁	平成20年度新たなノリ色落ち対策技術開発事業河川水最適利用技術の開発報告書	1～44	H21	必要があればコピー等を送付
256	(1) ⑤	同上	同上	水産庁	平成21年度新たなノリ色落ち対策技術開発事業河川水最適利用技術の開発報告書	2～53	H22	必要があればコピー等を送付
257	(1) ⑤	漁協等が策定する漁場改善計画に適正使用の取組を明記した計画の認定	酸処理剤及び施肥の適正使用の推進	水産庁	持続的ノリ養殖生産確保計画	全体		報告書等なし

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

- (1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖
⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進
- (2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年	公表方法
258	(1) ⑤	ダムの目的に支障がない範囲内においてノリ漁業者等の地元への要請(福岡県、佐賀県)に応えノリ期の緊急放流を実施	関係機関の合意のもと、松原ダム、下釜ダムからの緊急放流を平成4年度より9回実施	国土交通省	『松原・下釜ダム緊急放流実施状況』に関する報告	全体	H17	・福岡県、佐賀県連名で記者発表を実施 「松原・下釜ダム緊急放流の結果について」 ・報告書等なし 当県事業報告として印刷物で公表
259	(1) ⑤	酸処理剤の適正使用の確保および使用量の削減 (漁協は持続的養殖生産確保法に基づく酸処理剤の適正使用等を定めた漁場改善計画を策定し、県知事が同計画を認定 養殖現場においては、県や漁連等は酸処理剤の適正使用についての講習会、漁場の巡回指導等を実施、酸処理剤の削減について指導を実施)	pHを指標とした酸処理剤のモニタリングでは、低いpHは確認されていない	福岡県	福岡県水産海洋技術センター事業報告書 漁場環境調査指導事業 ーpHを指標とした海水中のノリ活性処理剤モニタリングー	各年度有 22年度 県事業報告 169～171	H23	
260	(1) ⑤	ノリ養殖における色落ち被害と河川流量等との関係、海域への河川水の流入拡散状況を把握	河川流量、風向風速と漁場の塩分濃度との間に関連性が認められ、栄養塩の動態から漁場を5つの区分に大別 ノリ網の減柵法別に栄養塩の拡散シミュレーションを実施	福岡県	新たなノリ色落ち対策技術開発事業報告書(H19)	全体	H20	報告書による
261	(1) ⑤	同上	同上	福岡県	新たなノリ色落ち対策技術開発事業報告書(H20)	全体	H21	報告書による
262	(1) ⑤	同上	同上	福岡県	新たなノリ色落ち対策技術開発事業報告書(H21)	全体	H22	報告書による
263	(1) ⑤	ノリ漁場環境改善のための河川水の流動・拡散シミュレーションの構築		福岡県	新たなノリ色落ち対策技術開発事業報告書(H19)	全体	H20	報告書による
264	(1) ⑤	同上	同上	福岡県	新たなノリ色落ち対策技術開発事業報告書(H20)	全体	H21	報告書による
265	(1) ⑤	同上	同上	福岡県	新たなノリ色落ち対策技術開発事業報告書(H21)	全体	H22	報告書による
266	(1) ⑤	プロトプラスト再生系を用いて高水温耐性等の優良形質を持った品種の効率的な選抜技術を開発	プロトプラスト再生系を用いた高水温耐性株の選抜には温度25℃の条件下での培養が適していることが解明、株の選抜を実施	福岡県	水産生物育種における地球温暖化対策のための基礎的研究 平成22年度研究成果報告書	全体		
267	(1) ⑤	室内培養によってノリの低塩分耐性の評価方法を確立	低塩分耐性の評価法を確立(既存品種の低塩分耐性を調べたところ、佐賀5号・クロスサビの低塩分耐性が強いことが明らかに)	福岡県	漁場環境・水産資源持続的利用型技術開発事業総括報告書(H24)	全体		
268	(1) ⑤	単胞子放出が少ないアサクサノリ株を開発、養殖試験実施	プロトプラスト再生系を利用した選抜により単胞子放出が少なく、高生長を示す株を分離、この株を用いて漁場での試験を行い、DNA判別によってアサクサノリが生長していることを確認	福岡県	福岡県水産海洋技術センター研究報告 第21号 アサクサノリの育種に関する研究	95～98	H23	当県事業報告として印刷物で公表
269	(1) ⑤	養殖漁場内19点において気象、海況及びノリの生長・病害の状況をノリ漁期中週2回調査分析	ノリ採苗日を従来に比べて10日以上遅らせることにより、年内生産が安定化(H19～)	福岡県	福岡県水産海洋技術センター事業報告書 ノリ養殖の高度化に関する調査	各年度有り22 年度県事業報告 156～165	H23	当県事業報告として印刷物で公表
270	(1) ⑤	有明海佐賀県海域のノリ養殖において、栄養塩の豊富な河川水を利用する技術の開発(水産庁委託)	シミュレーションによって、有明海佐賀県海域のノリ養殖漁場内における筑後川から流入した河川水の移動・分散状況を把握	佐賀県	H19年度 新たなノリ色落ち防止対策技術開発事業 河川水最適利用技術の開発報告書	22～29		
271	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	H20年度 新たなノリ色落ち防止対策技術開発事業 河川水最適利用技術の開発報告書	14～16		
272	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	H21年度 新たなノリ色落ち防止対策技術開発事業 河川水最適利用技術の開発報告書	25～36		
273	(1) ⑤	ノリ養殖安定対策検討会や病害専門部会等の協議会を開催、養殖指針や各種マニュアル等を作成	集団管理等の養殖体制を協議、徹底することによって、ノリの生産量全国1位を8年連続達成	佐賀県	ノリ養殖に関する基本方針 活性処理に関する実施要領	全体		
274	(1) ⑤	ノリの疾病の早期検出技術および酸処理剤による環境負荷を軽減する技術の開発を実施(文部科学省委託)平成17年度から平成19年度までの3年間	PCR検査による壺状菌の発生予測技術、無リン処理剤や酸処理剤の使用量を削減する水切り装置を開発	佐賀県	都市エリア産学官連携促進事業(連携基盤整備型・一般型)【佐賀県有明海沿岸エリア】 「ノリの安定生産及び有明海の保全に関する研究」平成17年度報告書	1～37		
275	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	都市エリア産学官連携促進事業(連携基盤整備型・一般型)【佐賀県有明海沿岸エリア】 「ノリの安定生産及び有明海の保全に関する研究」平成18年度報告書	1～35		
276	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	都市エリア産学官連携促進事業(連携基盤整備型・一般型)【佐賀県有明海沿岸エリア】 「ノリの安定生産及び有明海の保全に関する研究」平成19年度報告書	1～37		

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

- (1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖
 ⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進
 (2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年	公表方法
277	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	都市エリア産学官連携促進事業(連携基盤整備型・一般型)【佐賀県有明海沿岸エリア】平成17～19年度報告書	1～98	H20	冊子で公表
278	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	酸処理剤としての乳酸のアカグサレ菌に対する致死効果(水産増殖(55(3)))	325～330	H19	学会誌
279	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	再使用酸処理剤のアカグサレ菌に及ぼす影響と再利用(研究報告24号)	49～55	H21	・冊子で配布 ・HP上で公開
280	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	壺状菌の早期検出方法(海洋と生物:185)	605～610	H21	雑誌
281	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	壺状菌の系統と分類(海洋と生物:185)	601～604	H21	雑誌
282	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	アカグサレ菌の越冬生態と菌の検出(海洋と生物:185)	614～620	H21	雑誌
283	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	スミノリ病の病徴と発生機序(海洋と生物:185)	621～626	H21	雑誌
284	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	有明海(佐賀県)における養殖ノリの病害の発生(海洋と生物:185)	637～638	H21	雑誌
285	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	海苔スミノリ病の発生要因解析と防除法開発に関する研究(研究報告25号)	41～76	H23	・冊子で配布 ・HP上で公開
286	(1) ⑤	ノリ養殖による有明海佐賀県海域への環境負荷等の影響調査と酸処理剤や肥料の残留性の検証を実施	平成23年度から開始された。初年度酸処理剤の環境中残留性を調べたが残留性は認められなかった。	佐賀県	佐賀県有明海で実施されている栄養塩添加の現状(研究報告25号)	81～87	H23	・冊子で配布 ・HP上で公開
287	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	有明海湾奥部におけるノリ養殖の生産状況と窒素の収支(海洋と生物:199号)	142～148	H24	雑誌
288	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	ノリ養殖と栄養塩ダイナミクス(沿岸海洋研究 42(1))	47～54	H16	学会誌
289	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	有明海湾奥部におけるここ数年の栄養塩不足とノリ生産体制(海苔と海藻(67))	1～5	H16	雑誌
290	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	有明海湾奥部のノリ養殖(海洋と生物(167))	603～610	H18	雑誌
291	(1) ⑤	有明海佐賀県海域のノリ養殖漁場環境に対応した高品質のノリ品種の開発	高水温耐性品種の開発、品種登録中	佐賀県	有明海佐賀県海域のノリ養殖漁場環境に対応した高品質のノリ品種の開発 成果情報	全体		HP上で公開
292	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	高水温条件下におけるノリの殻胞子放出(研究報告23号)	1～3	H19	・冊子で配布 ・HP上で公開
293	(1) ⑤	有明海佐賀県海域のノリ養殖漁場におけるノリの生育や病害の発生状況等の調査、養殖管理に必要な情報発信・指導を実施	状況に応じた養殖管理などについて情報発信、ノリ養殖の安定生産に寄与	佐賀県	ノリ養殖情報	全体	毎年10月～翌年3月	HP上で公開
294	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	近年ノリ網に顕著に付着する丸葉ノリ(海苔と海藻 66号)	1～6	H15	学会誌で配布
295	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	ノリ葉体に付着する吸管虫類(研究報告22号)	9～15	H16	・冊子で配布 ・HP上で公開
296	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	Distribution of Pythium porphyrae, the causal agent of red rot disease of Porphyra spp., in the Ariake Sea, Japan (Plant Disease)	1041～1047	H17	学会誌
297	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	養殖ノリに被害を与える壺状菌のPCRによる早期検出(日水誌:71(6))	917～922	H17	学会誌
298	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	養殖ノリにおける生ノリと乾ノリの色調評価およびその相互関係(研究報告23号)	5～10	H19	・冊子で配布 ・HP上で公開

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

- (1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖
 ⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進
 (2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年	公表方法
299	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	有明海湾奥部の佐賀県ノリ養殖場におけるアカガサレ病および壺状菌病の発生(研究報告24号)	57~66	H21	・冊子で配布 ・HP上で公開
300	(1) ⑤	サルボウガイを活用した色落ち対策を検討するための基礎データの収集(水産庁委託)	サルボウガイによる植物プランクトンの濾水速度や栄養塩となる排泄物の排出能力を把握するなど、今後の効率的な色落ち対策の検討につなげる知見を収集	佐賀県	H19年度 新たなノリ色落ち防止対策技術開発事業 二枚貝増養殖技術の開発 成果報告書	19~38		
301	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	H20年度 新たなノリ色落ち防止対策技術開発事業 二枚貝増養殖技術の開発 成果報告書	96~106		
302	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	H21年度 新たなノリ色落ち防止対策技術開発事業 二枚貝増養殖技術の開発 成果報告書	68~81		
303	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	H23年度 新たなノリ色落ち防止対策技術開発事業 二枚貝増養殖技術の開発 成果報告書	58~60 134~141		
304	(1) ⑤	ノリの野生株が持つ優良な形質を養殖品種へ導入する新たな交配技術の開発と交配種の作出を実施(水産庁委託)	野生株を用いる新たな交配技術を開発、野生株タンサンサイとの交雑種を作出	佐賀県	水産生物育種における地球温暖化対策のための基礎的研究 平成20年度研究成果報告書	10~13		
305	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	水産生物育種における地球温暖化対策のための基礎的研究 平成21年度研究成果報告書	15~16		
306	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	水産生物育種における地球温暖化対策のための基礎的研究 平成22年度研究成果報告書	15~17		
307	(1) ⑤	ノリ品種の特性の1つである耐病性を評価する技術の開発の実施(水産庁委託)	壺状菌病を用いてノリの耐病性品種の室内評価を実施	佐賀県	平成19年度 漁場環境・水産資源持続的利用型技術開発事業報告書 原産地判別技術の開発	42~46 83~85		
308	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	平成20年度 漁場環境・水産資源持続的利用型技術開発事業報告書 原産地判別技術の開発	47~51 84~86		
309	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	平成21年度 漁場環境・水産資源持続的利用型技術開発事業報告書 原産地判別技術の開発	40~42 51~56		
310	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	平成22年度 漁場環境・水産資源持続的利用型技術開発事業報告書 原産地判別技術の開発	44~48 57~62		
311	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	平成23年度 漁場環境・水産資源持続的利用型技術開発事業報告書 原産地判別技術の開発	53~57 72~82		
312	(1) ⑤	同上	同上	佐賀県	ノリの壺状菌耐性に関する評価(研究報告25号)	77~79	H23	・冊子で配布 ・HP上で公開
313	(1) ⑤	ノリ養殖の現況や水質環境の把握、漁業者への指導の実施(普及指導センターと連携)	原則週1回、漁業者へ情報提供 長崎県のノリの生産量の推移は H19:24百万枚、H20:25百万枚、H21:24百万枚、H22:29百万枚	長崎県	平成19年度長崎県総合水産試験場事業報告	96~99	H20	・ホームページに掲載 ・報告書を公開
314	(1) ⑤	同上	同上	長崎県	平成20年度長崎県総合水産試験場事業報告	82~83	H21	・ホームページに掲載 ・報告書を公開
315	(1) ⑤	同上	同上	長崎県	平成21年度長崎県総合水産試験場事業報告	75~76	H22	・ホームページに掲載 ・報告書を公開
316	(1) ⑤	同上	同上	長崎県	平成22年度長崎県総合水産試験場事業報告	73~74	H23	・ホームページに掲載 ・報告書を公開
317	(1) ⑤	瑞穂～島原地区の漁場観測結果や他県の情報を「ノリ養殖情報」としてとりまとめ、漁業者へ配布	原則週1回、漁業者へ情報提供 長崎県のノリの生産量の推移は H19:24百万枚、H20:25百万枚、H21:24百万枚、H22:29百万枚	長崎県	ノリ養殖情報	A4 1枚		・ホームページに掲載 ・ノリ情報配布
318	(1) ⑤	県内の全てのノリ養殖場において漁場環境改善計画を策定	漁業者への適切な種苗時期や酸処理剤の使用法の周知	熊本県	熊本県資源管理協議会資料	全体	—	報告書等なし
319	(1) ⑤	水温等の環境モニタリング結果に基づく適切な採苗時期を提案	漁業者への適切な種苗時期や酸処理剤の使用法の周知	熊本県	ノリ養殖の概況	全体	H12以降各年度	水産研究センター事業報告書として公開
320	(1) ⑤	漁業者への酸処理の適切な使用方法の指導を実施	漁業者への適切な種苗時期や酸処理剤の使用法の周知	熊本県	酸処理剤節減試験	全体	—	公表可能な報告書等なし
321	(1) ⑤	低比重に耐性のある株の選抜育種	漁業者への適切な種苗時期や酸処理剤の使用法の周知	熊本県	平成21年度低比重耐性株選抜育種試験	166~170	H22	水産研究センター事業報告書として公開

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

- (1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖
 ⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進
 (2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年	公表方法
322	(1) ⑤	同上	同上	熊本県	平成22年度低比重耐性株選抜育種試験	185~189	H23	水産研究センター事業報告書として公開
323	(1) ⑤	栄養塩等に関する情報を漁業者へ迅速に提供	漁業者への適切な種苗時期や酸処理剤の使用法の周知	熊本県	平成19年度環境適応型ノリ養殖対策試験IV	134~135	H20	水産研究センター事業報告書として公開
324	(1) ⑤	同上	同上	熊本県	平成20年度環境適応型ノリ養殖対策試験IV	159~160	H21	水産研究センター事業報告書として公開
325	(1) ⑤	同上	同上	熊本県	平成21年度ノリ作り安定化対策試験IV	185~186	H22	水産研究センター事業報告書として公開
326	(1) ⑤	同上	同上	熊本県	平成22年度ノリ作り安定化対策試験IV	204~208	H23	水産研究センター事業報告書として公開
327	(1) ⑤	ブランド品種の導入、作業の同時化、加工順序の統一、早期摘採等によるブランド化と相対取引等を実施(水産庁補助)	出水地区における出水海苔ブランド化の推進	鹿児島県	沿岸漁業者経営改善促進グループ等取組支援事業報告書	全体		報告書等なし
328	(1) ⑥	有明海、八代海、橘湾など赤潮・貧酸素水塊が発生しやすい海域における広域的な監視・水質モニタリング調査の実施、赤潮・貧酸素水塊の発生機構の解明や予察技術の開発	調査データを関係県が実施する漁業被害防止対策の策定に活用 長年蓄積してきたデータを整理・解析することで、赤潮・貧酸素水塊の発生機構の解明や予察技術の開発・精度向上に貢献	水産庁	H23年度漁場環境・生物多様性保全総合対策事業のうち赤潮・貧酸素水塊漁業被害防止対策事業 事業報告書(各課題毎)	全体	H24	・報告書を農水省HPIに掲載予定 ・報告書を関係県・水産試験研究機関・大学等に配布
329	(1) ⑥	魚粉含有を削減した飼料の効率的な利用による水質改善等に関する実証試験を実施	環境負荷の原因となる魚粉の含有量を約30%以下とし、合成タウリンを添加した飼料を用いて、マダイの通常飼育が可能であることを確認	水産庁	持続的養殖生産・供給推進事業のうち低コスト飼料・効率的生産手法開発委託事業報告書(H20~22)	全体	H23	・報告書は必要な場合には水産庁よりメール送付等により提供
330	(1) ⑥	環境負荷を低減する技術の開発(貝類・藻類と魚類の複合養殖により魚類養殖から環境へ排出される窒素・りんを回収)	現在、ヒトゲサの人工採苗技術、アサリ、カキ、ハマグリ等二枚貝の垂下式育成技術を開発中	熊本県	平成19年度持続的養殖生産・供給推進委託事業報告書	全体	H20	
331	(1) ⑥	同上	同上	熊本県	平成20年度持続的養殖生産・供給推進委託事業報告書	全体	H21	
332	(1) ⑥	同上	同上	熊本県	平成21年度持続的養殖生産・供給推進委託事業報告書	全体	H22	
333	(1) ⑥	同上	同上	熊本県	平成22年度持続的養殖生産・供給推進委託事業報告書	全体	H23	
334	(1) ⑥	有害赤潮の発生を予測、早期発見するための監視ネットワークの整備	県、地元市町、漁協、養殖業者の連携、情報共有	熊本県	八代海赤潮監視体制検討会議資料	全体	-	
335	(1) ⑥	赤潮の初期発生海域で行う防除作業の支援	県、地元市町、漁協、養殖業者の連携、情報共有	熊本県	赤潮対策連絡会議資料	全体	-	報告書等なし
336	(1) ⑥	ブリ養殖において低汚濁負荷の新型飼料を使用(水産庁委託)		鹿児島県	ブリ養殖における低汚濁負荷の新型飼料の使用に関する資料	全体		報告書等なし
337	(1) ⑥	赤潮防除剤である粘土の改良試験を実施(水産庁補助)	粘土と添加剤の併用により赤潮防除効果の向上を確認	鹿児島県	平成23年度漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業 赤潮・貧酸素水塊漁業被害防止対策事業 シヤトネラ属有害プランクトンの漁業被害防止・軽減技術に関する研究報告書	3~9	H24	報告書の関係機関への配布
338	(1) ⑥	FAX送付、パソコン及び携帯電話版ホームページの更新、電子メールメーリングリストへの配信による赤潮情報の迅速な情報提供を実施	迅速な情報提供の実施(赤潮情報発行5回、注意情報発行5回、警報発行13回(H22)) ネットワークの充実(インターネットからの情報発信86回、携帯電話メーリングリストに約100名の登録(H19~23))	鹿児島県	鹿児島県水産技術開発センター平成22年度事業報告書 赤潮総合対策調査事業-I(有害・有毒プランクトン対策研究)	98~102	H23	HPIに掲載
339	(1) ⑥	赤潮発生予察のための6~8月の水質連続調査を実施	52回の水質連続調査(H23)による水質データの蓄積	鹿児島県	鹿児島県水産技術開発センター平成23年度事業報告書 赤潮総合対策調査事業-IV(赤潮被害防止緊急対策事業)	全体	H24(予定)	HPIに掲載
340	(1) ⑥	持続的養殖生産確保に係る漁場改善計画の策定と実行(養殖場の水質及び底質のCODを年2回測定)		鹿児島県	鹿児島県魚類養殖指導指針に基づく漁場環境調査	全体		県の魚類養殖協議会にて報告書等なし
341	(2) ①	長崎県小長井地先において覆砂等によるアサリの種場の経済効果をより高めるための実証調査を実施	アサリ稚貝の着底等に関する知見の蓄積(アサリ稚貝の着底は、地盤高が基本水準面から+1.0~+1.8mで多く、干出時間だと大潮時の一潮時あたり約4時間以下となる地盤が好適)	水産庁	水産基盤整備実証調査(アサリ)報告書	全体	H20	水産庁HPIに掲載(H17-H19調査)
342	(2) ①	底質環境の変化のメカニズム解明のための調査、タイラギの大量死に關する底質環境の因子の把握を実施	タイラギの大量へい死に関する知見の蓄積(タイラギ等二枚貝の生息へは貧酸素水塊による影響が強く疑われていたが、硫化水素がタイラギの生存に影響を与えている可能性が示唆)	環境省	底質環境の変化に関するメカニズムの解明とタイラギへの影響評価調査報告書(H20~21)	全体		環境省図書館で閲覧可

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

- (1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖
 ⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進
 (2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年	公表方法
343	(2) ①	浮泥の堆積、貧酸素水塊の発生状況等底層環境のモニタリングとタイラギ生息状況について、4定点を設置し2回のペースで継続的に調査を実施	タイラギに関する知見の蓄積 (環境条件と生息状況との関係、低酸素飼育実験、資源変動、呼吸代謝、移植試験等) 底層環境に関する知見の蓄積 (タイラギの大量へい死の要因特定には至っていないケースあり)	福岡県	福岡県水産海洋技術センター研究報告20号	53~60	H22	有明海漁場環境改善連絡協議会資料として提出。当県研究報告としても公表
344	(2) ①	タイラギ漁場の水質や底質環境、タイラギの病理学的、生理学的調査並びに生息状況調査等を実施(独)水産総合研究センターを中心に有明4県、大学等が連携(水産庁補助)	タイラギの大量へい死に関する知見の蓄積 (へい死が発生する漁場のタイラギは、鰓の組織が損傷していることが確認されており、それにより餌を取り込む機能や酸素を取り込む機能が低下し、活力が弱ったところに、産卵によってさらにエネルギーを消費して鰓死に至るのではないかと推定されているが、鰓を損傷させる要因を含め、まだ、鰓死原因の特定はできていない)	佐賀県	2000、2001年夏季に有明海北東部漁場で発生したタイラギの鰓死-I 発生状況(研究報告21号)	7~13	2003	・冊子で配布 ・HP上で公開
345	(2) ①	同上	同上	佐賀県	有明海佐賀県海域産タイラギの価格形成機構(研究報告21号)	15~21	H15	・冊子で配布 ・HP上で公開
346	(2) ①	同上	同上	佐賀県	有明海北東部漁場で発生したタイラギの鰓死-II (研究報告22号)	17~23	H16	・冊子で配布 ・HP上で公開
347	(2) ①	同上	同上	佐賀県	タイラギ閉殻筋に寄生する糸虫 <i>Tylocephalum</i> sp. の寄生特性(研究報告22号)	25~28	H16	・冊子で配布 ・HP上で公開
348	(2) ①	同上	同上	佐賀県	有明海のタイラギ資源に及ぼすナルトビエイの影響(研究報告22号)	29~33	H16	・冊子で配布 ・HP上で公開
349	(2) ①	同上	同上	佐賀県	有明海における瀬戸内海産タイラギの生残、成長、成熟と閉殻筋中のグリコーゲン含量の推移(研究報告22号)	35~39	H16	・冊子で配布 ・HP上で公開
350	(2) ①	同上	同上	佐賀県	タイラギ浮遊幼生の飼育と着底・変態(研究報告22号)	41~46	H16	・冊子で配布 ・HP上で公開
351	(2) ①	同上	同上	佐賀県	有明海生態系(海洋と生物)167 「有明海異変」、特にタイラギ資源の減少と今後	625~635	H18	雑誌
352	(2) ①	同上	同上	佐賀県	タイラギ浮遊幼生飼育における初期減耗の防止(研究報告23号)	33~35	H19	・冊子で配布 ・HP上で公開
353	(2) ①	同上	同上	佐賀県	佐賀県有明海域で2010年夏季に発生したタイラギ1歳貝の大量鰓死について(研究報告25号)	1~7	H23	・冊子で配布 ・HP上で公開
354	(2) ①	同上	同上	佐賀県	有明再生機構 平成22年度有明海なぜシンポジウム講演集 何故、タイラギが取れたのか他	1~51	H23	・冊子で配布 ・HP上で公開
355	(2) ①	同上	同上	佐賀県	有明海佐賀県海域で2010年夏季に発生したタイラギ1歳貝の大量鰓死について(研究報告25号)	1~11	H23	・冊子で配布 ・HP上で公開
356	(2) ①	同上	同上	佐賀県	有明海湾奥部の底質間隙水に含まれる硫化水素がタイラギの生残に及ぼす影響についての一考察(研究報告26号)	全体	H24	・冊子で配布 ・HP上で公開
357	(2) ①	同上	同上	佐賀県	有明海産タイラギのDNA分析による種判別(短報)(研究報告26号)	全体	H24	・冊子で配布 ・HP上で公開
358	(2) ①	同上	同上	佐賀県	プロモフェノールがタイラギに及ぼす影響(研究報告26号)	全体	H24	・冊子で配布 ・HP上で公開
359	(2) ①	同上	同上	佐賀県	佐賀県有明海におけるタイラギ漁業生産の歴史と漁場形成要因	全体	H25 予定	現在実施中
360	(2) ①	諫早湾におけるアサリ稚貝の発生実態を調査	アサリ稚貝の生息密度は2,000~10,000個体/m ² で、全国的にも高水準であることを把握	長崎県	平成19年度長崎県総合水産試験場事業報告	145~146	H20	・ホームページに掲載 ・報告書を公開
361	(2) ①	同上	同上	長崎県	平成20年度長崎県総合水産試験場事業報告	115~116	H21	・ホームページに掲載 ・報告書を公開
362	(2) ①	同上	同上	長崎県	平成21年度長崎県総合水産試験場事業報告	105~106	H22	・ホームページに掲載 ・報告書を公開

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

- (1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖
 ⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進
 (2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年	公表方法
363	(2) ②	有明海においてナルトビエイの分布や摂餌状況等を調査	ナルトビエイに関する知見の蓄積 4月から11月頃まで有明海全域に分布し、水温が16℃以下になると湾外へ移動 有明海へのナルトビエイの来遊量は推定十数万個体 餌は二枚貝類が主体であり、捕獲実績等から二枚貝類摂餌量は約5,000トン以上と試算	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第4回)(H19.3)資料(H18年度調査について)	33~38	H18	会議資料として公表
364	(2) ②	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第6回)(H20.3)資料(H19年度調査について)	7~8	H19	会議資料として公表
365	(2) ②	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第7回)(H20.9)資料(H20年度調査について)	9~10	H20	会議資料として公表
366	(2) ②	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第8回)(H21.3)資料(H20年度調査について)	15~20	H20	会議資料として公表
367	(2) ②	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第9回)(H21.10)資料(H21年度調査について)	9~10	H21	会議資料として公表
368	(2) ②	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第10回)(H22.3)資料(H21年度調査について)	15~20	H21	会議資料として公表
369	(2) ②	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第11回)(H22.9)資料(H22年度調査について)	21~24	H22	会議資料として公表
370	(2) ②	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第12回)(H23.3)資料(H22年度調査について)	29~36	H22	会議資料として公表
371	(2) ②	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第13回)(H23.11)資料(H22年度調査について)	15~17	H23	会議資料として公表
372	(2) ②	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第14回)(H24.3)資料(H18年度調査について)	22~28	H23	会議資料として公表
373	(2) ②	有明海において、流れによる卵・仔魚の産卵場から育成場への輸送状況、育成場の環境、仔魚の生残状況等に関する調査を実施	有明海に生息する一部の魚類が、有明海湾口部を産卵場所として活用し、その卵仔魚が潮流によって湾奥に輸送、生育している機構をほぼ解明	環境省	有明海環境変化が魚類の卵・仔魚の輸送と生残に及ぼす影響の評価調査業務報告書(H19~21)	全体	H20~	環境省図書館で閲覧可
374	(2) ②	有明海全域を網羅する魚類等生物採集調査、20魚種の胃内容物解析調査を実施、生態系モデルを用いて食物網構造について再現を検討	有明海生態系に関する知見の蓄積(極めて多様な板類が分布し、上位捕食者として一定かつ重要な生態系位置を占めていることなど)	環境省	有明海生態系回復方策検討調査(生態系機能解明調査)報告書(H22~23)	全体	H23~	環境省図書館で閲覧可
375	(2) ②	エツ種苗生産において単位生産量の増加、種苗の健全性の向上および省力化(①④の再掲)	種苗の健苗性向上方法の確立に一定の目的	福岡県	有明海漁業振興技術開発事業報告書。有明海漁場環境改善連絡協議会資料としても提出。H23年度事業報告原稿有り(未公表)	この成果は23年度事業報告未公表ページ	H24発行予定編集集中	有明海漁場環境改善連絡協議会資料として提出。当県事業報告原稿もあり
376	(2) ②	有明海佐賀県海域に分布する稚仔魚の種類や分布状況などを年4回調査	有明海湾奥部の感潮域が稚仔魚の重要な生息域になっていることを確認	佐賀県	有明海奥部佐賀県海域における魚類の分布生態(研究報告21号)	81~98	H15	・冊子で配布 ・HP上で公開
377	(2) ②	同上	同上	佐賀県	有明海生態系(海洋と生物)168 有明海湾奥部河口域の魚類成育場としての役割	16~25	H19	雑誌
378	(2) ②	同上	同上	佐賀県	有明海生態系(海洋と生物)168 有明海河口域稚仔魚相の河川間の比較	26~32	H19	雑誌
379	(2) ②	同上	同上	佐賀県	有明海生態系(海洋と生物)168 有明海におけるスズキの初期生活史の多様性	47~54	H19	雑誌
380	(2) ②	同上	同上	佐賀県	Comparison of the early life histories of two <i>Cynoglossus</i> species in the inner estuary of Ariake Bay, Japan. Ichtyol Res.(2009) 56	363~371	H21	学会誌
381	(2) ②	同上	同上	佐賀県	Importance of the upper estuary as a nursery ground for fishes in Ariake Bay, Japan. Environ Biol Fish(2011).91	337~352	H23	学会誌
382	(2) ②	有明海、八代海の計16地点において年12回、稚魚及び環境調査を実施	季節別の稚魚魚の出現状況の把握が可能に カタクチイワシについて、稚魚魚量及び水温等による春季漁獲状況の予測が可能に	熊本県	平成19年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H20	冊子
383	(2) ②	同上	同上	熊本県	平成20年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H21	冊子

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28回)の資料4「委員会報告(平成18年12月)への対応状況について」で整理した情報の根拠となる報告書等

- (1) 具体的再生方策 ① 底質環境の改善 ② 沿岸域の環境保全、回復 ③ 貧酸素水塊への対策 ④ 貝類、魚類等の資源管理及び増養殖
 ⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進 ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進
 (2) 解明すべき課題(重点化を図るべき研究課題) ① 二枚貝 ② 魚類等の資源生態 ③ 潮流・潮汐 ④ 土砂に関する知見の蓄積 ⑤ 汚濁メカニズムの解明とモデルの構築

No.	資料4 項目番号	内容 (資料4から転記)	成果等 (資料4から転記)	実施機関	報告書名・資料名	該当 ページ 等	公表年	公表方法
384	(2) ②	同上	同上	熊本県	平成21年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H22	冊子
385	(2) ②	同上	同上	熊本県	平成22年度熊本県水産研究センター事業報告書	全体	H23	冊子
386	(2) ②	有明海がザミについて市場調査・樺本船調査等による漁獲状況を把握。全甲幅長、雌雄、抱卵状況など生物学的な調査を実施	漁獲状況の把握と資源管理を進めるうえでの基礎資料の収集 産卵期: 5~9月(抱卵ガザミは、5、6月が多い) 産卵場所: 湾尖~湾奥部(有明海)、水深10~20m(八代海) 寿命と成長: 雄2年23cm 雌3年26cm 資源水準: 低位	熊本県	有明海ガザミ資源回復計画の評価・総括	全体	-	
387	(2) ③	有明海の潮流調査を実施		農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第4回)(H19.3)資料(H18年度調査について)	27~32	H18	会議資料として公表
388	(2) ③	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第5回)(H19.3)資料(H19年度調査について)	6	H19	会議資料として公表
389	(2) ③	同上	同上	農林水産省	有明海漁場環境改善連絡協議会(第6回)(H20.3)資料(H19年度調査について)	11	H19	会議資料として公表
390	(2) ③	有明海の潮流の状況の把握、有明海海域環境モデル(国調費モデル)の精度の検証、潮位及び潮流の変動要因を検討	有明海全体の平均的な流動を精度よく再現、潮位等に関する知見の蓄積(有明海の潮位振幅に対する影響は、いずれの変動要因(地形変化、外潮位変化、ノリ網等設置、潮受堤防設置)も同程度で、潮位振幅の変化率は最大でも5%程度)	農林水産省	・冊子[「有明海の再生に向けた新たな取り組み」環境変化の仕組みの更なる解明のための調査~調査結果のまとめ~ H20.12]	全体	H23~H24	・冊子[「有明海の再生に向けた新たな取り組み」環境変化の仕組みの更なる解明のための調査~調査結果のまとめ~ H20.12]による公表。
391	(2) ③	有明海の流動・水質の再現モデルの構築	有明海の流動・水質の再現モデルの構築	農林水産省	「流動・水質のシミュレーションモデルのプログラム」	全体	H23	・「流動・水質のシミュレーションモデルのプログラムの入手方法について」としてホームページ上で公表。 ・入手申請書の使用条件等に同意した者について入手可。
392	(2) ④	河川から海域へ供給される土砂についての調査を実施	筑後川の土砂動態把握のためのWGを設置、計5回開催	国土交通省	筑後川土砂動態調査に関するワーキンググループ 報告資料一式	全体	H20~	ホームページに掲載
393	(2) ④	河口域における土砂挙動等の調査及び流域全体の土砂収支の精度向上	調査結果等の論文は公表済み、WG資料は筑後川河川事務所ホームページに掲載	国土交通省	筑後川土砂動態調査に関するワーキンググループ 報告資料一式	全体	H20~	ホームページに掲載
394	(2) ⑤	有明海及び八代海にとって望ましい水質とその達成のために必要となる汚濁負荷量を検討	各地域の実情に応じた総量管理計画の策定などの再生方策の検討	環境省	有明海・八代海再生方策検討調査報告書(H18)	全体		環境省図書館で閲覧可
395	(2) ⑤	溶存態ケイ素(D-Si)の陸域からの負荷量を算定する方法を開発	有明海北東部流域の任意の河川からの大凡のD-Si負荷量を算定する方法を提案、知見の蓄積	福岡県	環境省環境研究・技術開発推進費終了研究成果報告書有明海流域における溶存態ケイ素流入負荷量算定方法の開発	全体	H22	報告書による
396	(2) ⑤	D-Siの陸域からの負荷量変動要因、その海域生態系への影響を調査	有明海北東部流域の任意の河川からの大凡のD-Si負荷量を算定する方法を提案、知見の蓄積	福岡県	D-Siの陸域からの負荷量変動要因、その海域生態系への影響を調査(H22-H24年度実施中)報告書未作成	全体	H25 予定	報告書取りまとめ中
397	(2) ⑤	発生源別の発生負荷量及び海域への流入負荷量の状況を経年的に把握	水環境の改善に向けた取組を進めるための基礎データとして活用	福岡県	発生負荷量等算定調査(有明海)報告書	全体	各年度	環境省取りまとめ
398	(2) ⑤	有明海においてD-Siを含めた栄養塩と植物プランクトン出現種との関連を調査	有明海北東部流域の任意の河川からの大凡のD-Si負荷量を算定する方法を提案、知見の蓄積	福岡県	有明海においてD-Siを含めた栄養塩と植物プランクトン出現種との関連を調査(H22-H24年度実施中)報告書未作成	全体	H25 予定	報告書取りまとめ中
399	(2) ⑤	環境基準を達成していない等、水環境保全上、特に対策が急がれる水域において、生活環境項目に加え、底質、クロロフィルa等の調査を実施	環境基準を達成していない等、水環境保全上、特に対策が急がれる水域において、生活環境項目に加え、底質、クロロフィルa等の調査を実施	福岡県	H23年度水質改善促進事業(大牟田市内河川: 隈川)報告書	全体	H25 予定	報告書取りまとめ中(事業延長)
400	(2) ⑤	有明海湾奥部の泥質干潟、砂泥質干潟の柱状資料、水質、底質(鉛直調査含む)調査を実施	堆積相解析や平均堆積速度等から底質堆積物の年代を推定	佐賀県	干潟・浅海域における底質の物質循環に関する研究 平成17~21年度研究成果報告書	5~146	H22	HP上で公開
401	(2) ⑤	有明海湾奥部の干潟、浅海域の環境について、長期的な変遷について整理	底質の物質循環に関する生態系シミュレーションモデルによる計算結果の検証に資する1年間の季節変動データを取得 4年間の調査研究の結果をもとに生態系シミュレーションモデルによる現況再現計算と過去の物質収支の推定、既存研究成果を整理	佐賀県	干潟・浅海域における底質の物質循環に関する研究 平成17~21年度研究成果報告書	147~544	H22	HP上で公開
402	(2) ⑤	有明海及び八代海の環境特性の把握、赤潮等による漁業被害の防止・軽減に必要な知見の収集(水産庁委託) (有明海において夏季赤潮調査(6~8月に週1回)及び中央ラインの水質調査(月1回の小潮時に中央ライン5点で調査)を実施、八代海において夏季にコクロディニウム赤潮調査及び月1回中央ラインの水質モニタリングを実施)	毎年の赤潮発生原因の解明、シャットネラ赤潮の発生予察のための予察式を作成 漁業者、関係機関等への携帯メール、インターネット、新聞、FAXによる赤潮情報等の提供	熊本県	八代海赤潮監視体制検討会議資料	全体	-	

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28～30回)における報告事項等の根拠となる報告書等

No.	報告者、機関	該当する報告事項等			報告書・資料名等			
		評価委員会	資料番号	報告事項名	報告書・資料名	該当ページ等	公表年	公表方法
01	農林水産省	第30回	資料2-1	農林水産省の取組み	1. 貧酸素調査 ①(有明海漁場環境改善連絡協議会(第4回)(H19.3)資料(H18年度調査について)	9	H18	有明海漁場環境改善連絡協議会において会議資料として
02	農林水産省	第30回	資料2-1	農林水産省の取組み	1. 貧酸素調査 ②(有明海漁場環境改善連絡協議会(第5回)(H19.9)資料(H18年度調査について)	1	H18	有明海漁場環境改善連絡協議会において会議資料として
03	農林水産省	第30回	資料2-1	農林水産省の取組み	2. 赤潮調査(有明海漁場環境改善連絡協議会(第14回)(H24.3)資料(H23年度調査について)	6~7	H23	有明海漁場環境改善連絡協議会において会議資料として
04	農林水産省	第30回	資料2-1	農林水産省の取組み	3. 底質調査(有明海漁場環境改善連絡協議会(第14回)(H24.3)資料(H23年度調査について)	11~12	H23	有明海漁場環境改善連絡協議会において会議資料として
05	農林水産省	第30回	資料2-1	農林水産省の取組み	4. 二枚貝生息調査(有明海漁場環境改善連絡協議会(第14回)(H24.3)資料(H23年度調査について)	23~26	H23	有明海漁場環境改善連絡協議会において会議資料として
06	農林水産省	第30回	資料2-1	農林水産省の取組み	5. 特産魚介類精査徳環境調査(有明海漁場環境改善連絡協議会(第14回)(H24.3)資料(H23年度調査について)	29~53	H24	有明海漁場環境改善連絡協議会において会議資料として
07	林野庁	第30回	資料2-2	九州地方の森林資源の現状等について	資料掲載情報のとおり	全体	H24	委員会資料による
08	中田英昭委員	第30回	資料3	橘湾の海域特性について	資料掲載情報のとおり	全体	H24	委員会資料による
09	農林水産省	第29回	資料2	前回委員会における委員指摘事項について 1 諫早湾内における貧酸素水塊の観測について	有明海貧酸素水塊広域連続観測(諫早湾)	全体	H22~	HPによる
10	関係県	第29回	資料2	前回委員会における委員指摘事項について 2 公共用水域水質調査結果	公共用水域水質調査結果	全体	各年度	HP、冊子による
11	関係県	第29回	資料2	前回委員会における委員指摘事項について 3 貧酸素水塊による漁業被害に関する情報	資料掲載情報のとおり	全体	H24	委員会資料による
12	水産庁	第29回	資料2	前回委員会における委員指摘事項について 4(1)八代海における貧酸素水塊の発生状況データ	八代海におけるリアルタイム水質情報	全体	H23~	HPによる
13	国土交通省	第29回	資料2	前回委員会における委員指摘事項について 4(2)海洋環境整備船「海輝」による八代海における環境調査	環境整備船「海輝」による有明海・八代海の環境調査計画の策定と調査結果	全体	H17~	HP、冊子による
14	熊本県	第29回	資料2	前回委員会における委員指摘事項について 4(3)八代海中央ライン水質調査	平成19~21年度閉鎖性海域赤潮被害防止対策事業Ⅱ	105~106 126~129 152~153	各年度	水産研究センター事業報告書として
15	鹿児島県	第29回	資料2	前回委員会における委員指摘事項について 4(4)八代海における貧酸素水塊のモニタリング	平成23年度漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業 赤潮・貧酸素水塊漁業被害防止対策事業 八代海・鹿児島湾における有害赤潮等分布拡大防止調査報告書	17~25	H24	報告書を関係機関に送付・県図書室に所蔵
16	水産庁	第29回	資料3-1	水産庁説明補足資料	①1枚目上図:有明海貧酸素水塊広域連続観測のHP		H22	HP
17	水産庁	第29回	資料3-1	水産庁説明補足資料	②1枚目下図:平成23年度漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業、赤潮・貧酸素水塊漁業被害防止対策事業 貧酸素水塊漁業被害防止対策(報告書)	93	H24.3	冊子
18	水産庁	第29回	資料3-1	水産庁説明補足資料	③2枚目上図及び下図:第12回有明海漁場環境改善連絡協議会(九州農政局主催)会議資料	19	H23.3	配布
19	国土交通省	第29回	資料3-2	「土砂に関する知見の蓄積」に関する報告	筑後川土砂動態調査に関するワーキンググループ 報告資料一式		H20~	HP
20	国土交通省	第29回	資料3-2	「土砂に関する知見の蓄積」に関する報告	筑後川感潮域における洪水流と土砂移動【河川技術論文集、第15巻、2009年】	297~302	H21	土木学会HPに掲載(学会会員のみのみ)
21	国土交通省	第29回	資料3-2	「土砂に関する知見の蓄積」に関する報告	河床が互層構造をなす筑後川感潮域における洪水流による河床変動と砂移動機構に関する研究【河川技術論文集、第16巻、2010】	131~136	H22	土木学会HPに掲載(学会会員のみのみ)
22	国土交通省	第29回	資料3-2	「土砂に関する知見の蓄積」に関する報告	筑後川感潮域の洪水水中の河床変動解析【水工学論文集、第55巻、2011年2月】	877~882	H23	土木学会HPに掲載(学会会員のみのみ)
23	国土交通省	第29回	資料3-2	「土砂に関する知見の蓄積」に関する報告	複雑な互層構造をなす筑後川感潮域における河床変動と有明海への土砂流出量【土木学会第66周年次学術講演会(平成23年度)】	Ⅱ-104	H23	平成23年度 土木学会全国大会in shikoku(H23.9/7-9/9)

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ 有明海・八代海等総合調査評価委員会(第28～30回)における報告事項等の根拠となる報告書等

No.	報告者、機関	該当する報告事項等			報告書・資料名等			
		評価委員会	資料番号	報告事項名	報告書名・資料名	該当ページ等	公表年	公表方法
24	国土交通省	第29回	資料3-2	「土砂に関する知見の蓄積」に関する報告	筑後川流域における土砂収支の推算と有明海への砂の流出量に関する研究【河川技術論文集,第18巻,2012】	161～166	H24	2012年度河川技術に関するシンポジウム(H24.6/21-6/22)
25	環境省	第29回	資料3-3	環境省の取組み(H19～H22)	1 有明海貧酸素水塊発生機構実証調査業務(H19～21)	全体	H20～	環境省図書館で閲覧可能
26	環境省	第29回	資料3-3	環境省の取組み(H19～H22)	2 有明海・八代海の環境変化が魚類の卵・仔魚の輸送と生残に及ぼす影響の評価調査事業(H19～21)	全体	H20～	環境省図書館で閲覧可能
27	環境省	第29回	資料3-3	環境省の取組み(H19～H22)	3 底質環境の変化に関するメカニズムの解明とタイラギへの影響評価調査(H20～21)	全体	H21～	環境省図書館で閲覧可能
28	環境省	第29回	資料3-3	環境省の取組み(H19～H22)	4 有明海・八代海再生フォローアップ調査(底質環境調査)(H20～21)	全体	H21～	環境省図書館で閲覧可能
29	環境省	第29回	資料3-3	環境省の取組み(H19～H22)	5 有明海・八代海再生フォローアップ調査(懸濁物調査)(H20～22)	全体	H21～	環境省図書館で閲覧可能
30	環境省	第29回	資料3-3	環境省の取組み(H19～H22)	6 有明海・八代海総合調査推進業務(H19～21)	全体	H20～	環境省図書館で閲覧可能
31	有瀬真人委員	第29回	資料4	有明海及び八代海の現況について(水産現場からの報告)	資料掲載情報のとおり	全体	H24	委員会資料による

有明海・八代海等における調査等に関する報告書等一覧(平成24年12月現在)

○ その他、委員等から情報提供いただいた報告書等

No.	実施機関	報告書・資料名等			
		報告書名・資料名	該当ページ等	公表年	公表方法
01	農林水産省	二枚貝類等生息環境調査(平成16～18年度)	全体	H20	報告書「有明海の再生に向けた新たな取組」による
02	農林水産省	有明海底質環境調査(平成16～22年度)	全体	H17～	報告書「有明海の再生に向けた新たな取組」及び有明海漁場環境改善連絡協議会(第8、10、12回)による
03	農林水産省	有明海潮流観測等調査	全体	H20	報告書「有明海の再生に向けた新たな取組」による
04	農林水産省	諫早湾干拓事業の潮受堤防の排水門の開門調査に係る環境影響評価書(平成24年)	全体	H24	評価書、HPIによる
05	国土交通省	環境整備船「海輝」による有明海・八代海の環境調査計画の策定と調査結果	全体	H17～23	報告書、HPIによる
06	国土交通省	九州地域における干潟の保全・再生技術資料	全体	H21	
07	環境省	平成18～19年度発生負荷量等算定調査～有明海における排出負荷量及び流入負荷量の把握	全体	H19～	報告書による
08	環境省	平成19年度有明海・八代海水環境調査報告書	全体	H20	報告書による
09	環境省	平成15年度有明海における底泥からの栄養塩類溶出把握実態調査	全体	H16	報告書による
10	環境省	平成16年度八代海における底泥からの栄養塩類溶出把握実態調査	全体	H17	報告書による
11	環境省	平成14年度有明海等浅海域環境定量評価手法検討調査報告書	全体	H15	報告書による
12	環境省	平成23年度有明海懸濁物等長期変動調査報告書	全体	H24	報告書による
13	農林水産省 国土交通省 経済産業省 環境省	平成15年度有明海海域環境調査報告書(国土総合開発事業調整費調査)	全体	H16	報告書による
14	熊本県	八代港藻場造成計画	全体	H21	報告書による
15	熊本県	有明海・八代海干潟等沿岸海域再生検討委員会報告書	全体	H18	HPIによる
16	北九州市立大学 楠田先生	蘇る有明海 再生への道程	全体	H24	出版物(恒星社厚生閣)
17	北九州市立大学 楠田先生	「有明海生物生息環境の俯瞰型再生と実証試験」最終報告書	全体	H17	報告書による
18	九州大学 松永先生	諫早湾の水質・底質環境に関する研究成果報告書	全体	H23	報告書による
19	佐賀大学	佐賀大学有明海総合研究プロジェクト最終成果報告書	全体	H22	報告書、HPIによる
20	特定非営利法人 有明海再生機構	有明海再生機構の中間まとめ 有明海環境異変を科学技術はどこまで解明したか	全体	H23	報告書、HPIによる